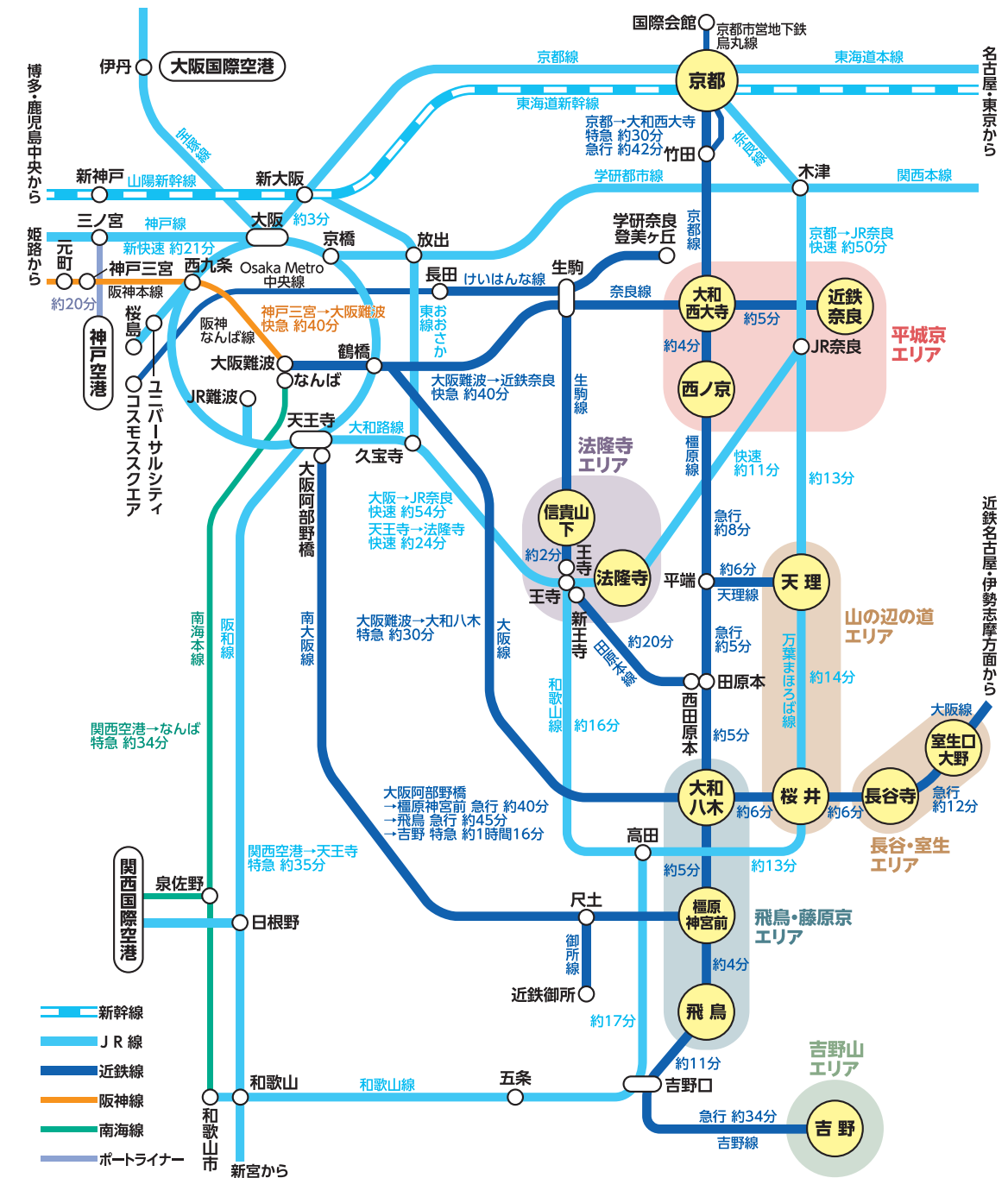
奈良県へのアクセスと学習エリアへの移動時間目安（鉄道利用）

※表記の所要時間は標準時間の目安です。また列車により所要時間は異なります。乗り換え等に要する時間は含んでいません。(2021年3月31日現在)
※特急をご利用の場合は運賃に別途特急料金が必要です。

奈良県修学旅行ガイドブック〈デジタルブック〉へのアクセス、
観光情報は、「あをによし なら旅ネット」まで。

http://yamatoji.nara-kankou.or.jp/ あをによし なら旅ネット

〈学びの旅〉の事前学習・現地学習・事後学習をサポート！

◎奈良県修学旅行コンセプトブック ～学習指導者の皆さまへ～

◎奈良県修学旅行ワークブック ～学習される生徒の皆さまへ～

上記のガイドブックご活用ガイド・ツールのダウンロードも、こちらから。

「日本誕生」

The Birth of JAPAN

〜「奈良」を知れば、「日本」がわかる。さあ、歴史の現場へ〜

「日本」の国づくりは、奈良ではじまりました。飛鳥時代から奈良時代、古代日本の歴史を大きく動かした、歴史の教科書にも登場する“人物ゆかりの現場”へタイムトリップしてみましょう。1300年の時を経て守り受け継がれてきた社寺の建造物や宝物・仏像など貴重な文化財の数々。それら“本物を体感”できるのは奈良だけです。

*

キトラ古墳壁画体験館 四神の館、平城宮跡歴史公園など、古くて新しい最新の学習スポットも見どころです。また、歴史あるお寺でのお写経や座禅の体験、奈良発祥の能や雅楽、墨・筆・赤膚焼・柿の葉ずしなど、伝統芸能や産業の体験、鹿の生態観察や林業体験など、SDGsへの意識を高める体験プログラムもご用意しています。

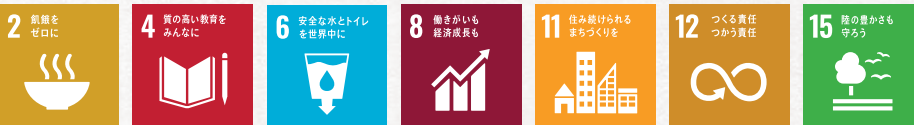
*

「奈良」を知れば、「日本」がわかる。日本の歴史・文化の原点、その“かたち”と“こころ”を現地で体験・体感してください。奈良への修学旅行を通して、日本の源流を知り、今を考え、未来を見つめる大人へ。そして、「日本」を愛し、生まれ育った郷土の歴史・文化に誇りをもつ大人に成長していただきたいと願っています。

*

このガイドブックは、日本の国のはじまりから成立まで、その歴史の流れを意識して編集しています。〈学びの旅のテーマ〉では、そのエリアで「何を学ぶのか」、〈現地で学ぼう！感じよう！〉では、実際に現地で「どう学べばよいのか」、その着眼点を示唆することで、生徒の皆さまの自主的で主体的な学習行動をサポートします。
また、〈デジタル版〉奈良県修学旅行ガイドブックもご提供しています。指導者さま向け、学習者さま向け（ワークシート付）のご活用ガイドを併用いただき、奈良への修学旅行の事前学習・現地学習・事後学習にお役立てください。

〈奈良への修学旅行で学べるSDGs（持続可能な開発目標）について〉

奈良県では、地域の観光資源を活かした観光戦略／歴史的景観保存と都市生活の快適な調和豊かな自然を未来につなぐ環境保全運動などの目標に取り組んでいます。

〈表紙について〉平城宮跡・大極殿と北極星
平城京は奈良時代の都。天皇が出座される大極殿が都の中央最北端に建造され、天皇は北極星を背に南を向いて国を治めました。（平城京：29・30頁参照）　写真：UPフォトス（平城宮跡・大極殿）

Contents

(奈良県全図)

平城京エリア ●世界遺産「古都奈良の文化財」
法隆寺エリア ●世界遺産「法隆寺地域の仏教建造物」
飛鳥・藤原京エリア ●日本遺産「日本国創成のとき〜飛鳥を翔（かけ）た女性たち」
吉野山エリア ●世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道〜吉野・大峯〜」
山の辺の道　長谷寺　室生寺

(奈良県を取り巻く近畿の地勢)

古くて、新しい。最新の奈良学習スポット！

キトラ古墳 壁画体験館 四神の館

写真：国営飛鳥歴史公園

7世紀末から8世紀初めに築かれたとされるキトラ古墳。「四神の館」は、キトラ古墳とその壁画をわかりやすく、楽しく学習する体験型施設です。石室内部の壁面・天井に描かれた方位を司る「四神」や東アジア現存最古の本格的な天文図、発掘調査に関するドキュメンタリー映像など。原寸大模型・4面マルチ映像・ジオラマ模型展示などで、キトラ古墳と古代飛鳥の暮らしを学ぶことができます。

●キトラ古墳壁画体験館 四神の館（12頁参照）（地図）48頁・H2
主な学習施設一覧（40頁参照）

平城宮跡歴史公園「朱雀門ひろば」

写真：平城宮跡歴史公園

発掘調査・研究をもとに復原整備が進む平城宮跡歴史公園。玄関口「朱雀門ひろば」には、奈良時代の平城宮を体感できる「平城宮いざない館」。平城宮跡展望デッキやVRシアターを備えた「天平みはらし館」。復原遣唐使船に乗船体験ができる「天平うまし館」なども。奈良時代、天皇が出座し、国家的儀式が行われた重要な建物「第一次大極殿」に象徴される、壮大で壮麗な平城宮を体感することができます。

●平城宮跡歴史公園（29・30頁参照）（地図）47頁・A1
主な学習施設一覧（40頁参照）

よみがえった薬師寺の東塔 龍宮のような白鳳伽藍

藤原京に建立され、平城遷都の折に西ノ京の地に移された薬師寺。2009年に始まった解体修理を終え、2021年春から一般公開される東塔は、飛鳥時代後期（白鳳期）の様式を伝える貴重な建物です。お写経の納経料によって復興された金堂、大講堂、西塔とともに「龍宮造り」と呼ばれる美しい白鳳伽藍が、よみがえりました。

●薬師寺（31・32頁参照）（地図）47頁・B1

写真：田中美紀

藤原氏ゆかりの興福寺 再建された中金堂

写真：飛鳥園

平城遷都とともに建立された藤原氏ゆかりの興福寺。阿修羅像など奈良時代の仏像でも知られていますが、五重塔をはじめ境内の建物群は、歴史の中で被災と再建を繰り返してきました。そして2018年、平城遷都で主導的な役割を果たした藤原不比等創建の重要な建物、中金堂が再建されました。

●興福寺（25・26頁参照）（地図）47頁・C1C2

バラエティに富んだ、奈良体験プログラム！

歴史・文化体験

お写経／座禅・瞑想／法話・勤行など

墨と筆で丁寧に文字を書く日本文化の大切さを知る「お写経」。ヨーガの原点ともいわれる「瑜伽行」。独特の呼吸法で精神統一する「座禅」「瞑想」。これからの人生にきっと役に立つ僧侶の「法話」。日本独自の修験道の総本山で行われる「勤行」など。1300年の歴史ある奈良のお寺でしか味わえない貴重な体験を。

①お写経体験　写真：薬師寺
②朝の勤行体験（朝座風景）　写真：金峯山寺
③止観（座禅体験）　写真：金峯山寺

ものづくり体験

にぎり墨／奈良筆づくり／赤膚焼／手漉き和紙／箸づくりなど

全国シェア90%を占める墨、筆は、奈良の伝統産業。自分の指紋を付けたオリジナル「にぎり墨」の制作や「奈良筆」の仕上げ体験なども。また、可愛い「奈良絵」で知られる赤膚焼の窯元で絵付けを楽しんだり、自分のネーム入りの箸づくりや自分で漉いた和紙で作るハガキやタペストリーなど、自由な発想でチャレンジ。

①奈良筆づくり体験　写真：奈良筆 田中
②ミニ鬼瓦づくり体験　写真：株式会社 瓦道
③七宝焼体験　写真：匠の聚

伝統芸能・行事体験

雅楽／能・狂言／蹴鞠／鹿寄せ／なら燈花会など

日本最古の伝統音楽「雅楽」の管絃・舞楽の鑑賞。奈良が原点といわれる能や狂言のワークショップ。飛鳥時代に中国から伝わった古代の「蹴鞠」体験。また、古都・奈良の風物詩「鹿寄せ」や「なら燈花会」の体験など。日本の歴史・文化の源流を知り、日本人のこころを感じることが楽しくなる奈良で特別な時間を。

①②なら燈花会体験　写真：NPO法人 なら燈花会の会
③雅楽鑑賞　写真：株式会社 雅房　④鹿寄せ　写真：一般財団法人 奈良の鹿愛護会

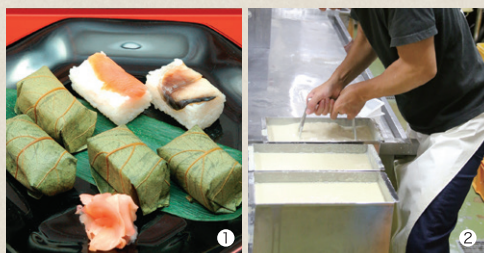
環境学習

奈良公園の巨樹めぐり／春日山原始林ガイドウォーク／森林環境教育プログラムなど／林業体験

奈良公園内の樹齢数百年を越える巨樹に触れて生命の尊さを体感したり、春日山原始林の遊歩道を歩いて人と自然の共生について学ぶ体験、人・鹿・糞虫の関係を学ぶフィールドワークなども。また、SDGsや環境保護への意識を高める森林環境教育プログラムや林業体験などもご用意。間伐材を活用した木工体験も楽しめる。

①奈良公園の巨樹めぐり　写真：グリーンあすなら（奈良 巨樹・巨木の会）
②自然環境学習（水源地の森ツアー）　写真：森と水の源流館

食の体験

柿の葉ずし／大和こんにゃく作り／蕎麦打ち／豆腐作りなど

保存食として発達した奈良名産の「柿の葉ずし」や良質の蒟蒻芋で作る「大和こんにゃく」など、伝統ある老舗や名店で「奈良のうまいもの」づくり。地元産の食材で作る無添加ジャムやお米パン、豆腐作りでは自分でニガリを入れて固める体験も。また、僧侶を招いて“いのち”をいただく作法を学ぶ体験講座なども。

①「柿の葉ずし」作り
②豆腐作り体験 写真：奈良斑鳩ツーリズム Waikaru（とうふ匠 豆風花）

注）掲載の写真は、コロナ禍前に撮影。現在は、ソーシャルディスタンスを確保し、実施しています。

◎奈良県の「主な体験プログラム」の詳細は、41頁～44頁をご覧ください。

飛鳥・藤原京エリア
（飛鳥・橿原）

〈学びの旅のテーマ〉

激動の古代日本史の舞台となった「飛鳥」。国家としての日本が育まれた都「藤原京」へ！

天智天皇

緊迫した東アジア情勢の中で、中国に負けない国づくりを行おう。

天武天皇

国の制度や都の造営に力を入れ、国家としての「日本」を発信しよう。

注）人物イラストについては、イメージで表現しており、学術的な正確さを追求するものではありません。

権勢を振るった豪族を倒し、天皇主権の国政改革を開始。

力を持った豪族が政治の主導権を握っていた6〜7世紀。舒明天皇と皇極天皇の子・中大兄皇子（後の天智天皇）は、中臣鎌足らと、蘇我蝦夷・入鹿父子を倒し、権力者の蘇我氏を滅ぼしました。そして、天皇主権の時代へ移りました。しかし、当時の朝鮮半島情勢から、中国・唐の脅威に急いで備えなければなりませんでした。中大兄皇子は、唐に負けない国づくりのために急速な国政改革を行いました。

国家としての「日本」を育み、中国・唐との外交政策を準備。

天智天皇の弟・大海人皇子は、天皇崩御後、その子・大友皇子を倒し、天武天皇として即位。天智天皇の改革を受け継ぎ、律令制度を完成、公式の日本の歴史書を編纂、日本初の都城の造営を計画するなど、国家としての「日本」を育みました。天皇崩御後は、皇后が持統天皇として即位し、亡き夫の遺志を引き継ぎました。そして、文武天皇の時代には、中国・唐も「日本」という国を認めるようになりました。

【崩御】＝天皇や皇后が亡くなること。
【編纂】＝多くの文献を集めて、本にまとめること。

主な学習スポットとモデルコース

<・・・・ レンタサイクル

古代日本史の舞台。国づくりに貢献した人物ゆかりの地をめぐる。

●所要時間＝約7時間（レンタサイクル利用）
（地図）48頁参照

近鉄飛鳥駅

<・・・・ 約20分

キトラ古墳壁画体験館 四神の館
●見学時間＝約1時間
四神、古代の天文図など渡来人の文化を楽しく学ぶ。

写真：国営飛鳥歴史公園

<・・・・ 約10分

高松塚壁画館
●見学時間＝約20分
再現された色彩豊かな壁画。万葉人の風貌を知る。

写真：古都飛鳥保存財団

<・・・・ 約5分

天武・持統天皇陵
●車上から眺望
夫婦で支え合い、藤原京を計画、造営した天皇の合葬陵。

写真：UPフォトス

<・・・・ 約3分

亀石
●見学時間＝約3分
飛鳥に点在する謎の石造物の一つ。不思議な伝説も。

写真：UPフォトス

<・・・・ 約3分

橘寺
●見学時間＝約20分
聖徳太子建立七大寺の一つ。境内には、愛馬の像も。

写真：UPフォトス

<・・・・ 約6分

石舞台古墳
●見学時間＝約20分
蘇我馬子の墓とされる日本最大級の石室をもつ方墳。

写真：UPフォトス

<・・・・ 約6分

飛鳥宮跡
●見学時間＝約10分
天武天皇の飛鳥浄御原宮跡。下層には3つの宮跡がある。

写真：UPフォトス

<・・・・ 約3分

亀形石造物（酒船石遺跡）
●見学時間＝約10分
斉明天皇時代の祭祀跡。水を流し、貯める仕組みに。

<・・・・ 約2分

奈良県立万葉文化館
●見学時間＝約1時間
万葉劇場や歌垣の再現など、万葉の世界を体感。

写真：奈良県立万葉文化館

<・・・・ 約5分

飛鳥資料館
●見学時間＝約1時間
謎の石造物群がお出迎え。古代の石造噴水の再現も。

写真：UPフォトス

<・・・・ 約6分

甘樫丘展望台
●見学時間＝約10分（展望台まで往復徒歩約20分）
麓に、蘇我蝦夷・入鹿親子の邸があったといわれている。

写真：国営飛鳥歴史公園飛鳥管理センター

<・・・・ 約3分

飛鳥水落遺跡
●見学時間＝約5分
中大兄皇子が造った、日本初の水時計。その施設の遺構。

写真：古都飛鳥保存財団

<・・・・ 約2分

飛鳥寺
●見学時間＝約30分
蘇我馬子が建立した法興寺。日本最古の仏像が本尊。

写真：飛鳥園

<・・・・ 約12分

近鉄橿原神宮前駅

〈オプションコース〉

飛鳥寺から足を延ばして、古代の都・藤原京を体感。

●所要時間＝約1時間（レンタサイクル利用）
（地図）48頁参照

飛鳥寺

<・・・・ 約10分

藤原宮跡資料室
●見学時間＝約20分
出土品展示・模型・パネル展示で、藤原京を学ぶ。

<・・・・ 約5分

藤原宮跡
●見学時間＝約5分
大和三山に囲まれた藤原京の宮跡で往時を偲ぶ。

写真：UPフォトス

<・・・・ 約1分

橿原市藤原京資料室
●見学時間＝約10分
1／1000のジオラマ展示で藤原京の全容を学ぶ。

<・・・・ 約12分

近鉄橿原神宮前駅

飛鳥・石舞台古墳　なぜ石室が露出しているのか、どうやって巨石を積み上げたのかなど謎も多い。　写真：高橋良典

仏教伝来。仏教を柱とした新しい国づくり。

飛鳥寺、橘寺、石舞台古墳など

仏教伝来がきっかけとなった覇権争いで実権を握った蘇我氏。

6世紀の中頃、朝鮮半島の国・百済から当時の日本に仏教の経典・仏像などが贈られたことをきっかけに、日本古来の神々を祀る豪族・物部氏と、大陸から仏教文化を採り入れようとした豪族・蘇我氏が激しく争いました。物部守屋は、穴穂部皇子を次の天皇候補に擁立し、武力で攻めようとしましたが、蘇我馬子が皇子を殺害。泊瀬部皇子（後の崇峻天皇）、聖徳太子（厩戸皇子）らとともに物部守屋討伐軍を組織し、勝利した蘇我氏が権力を握りました。

【擁立】＝支持し、盛り立てて、高い位に就かせようとすること。

飛鳥寺　写真：UPフォトス

仏教興隆のために建立された日本初の本格的な寺院、法興寺。

物部守屋討伐では、自ら四天王像を彫り、戦勝を祈願した聖徳太子とともに、蘇我馬子も「この戦に勝てば、寺院を建て、仏教興隆に励む」と誓いました。法を興す寺・法興寺（現在の飛鳥寺）の建立には、百済から渡来した寺院建築のための専門の技術者たちによって最新の技術が採り入れられ、仏教導入に苦労した蘇我馬子念願の本格的な寺院が完成しました。

●飛鳥寺（地図）48頁・G3

聖徳太子（厩戸皇子）が活躍した仏教を柱とした新しい国づくり。

日本初の女性天皇・推古天皇は、聖徳太子、蘇我馬子らと、国を挙げて仏教を推し進める政治を行いました。また、親から子に地位が受継がれた役人の制度を見直し、業績次第で出世ができる「冠位十二階」の制定や、『和を以て貴しと為す』で有名な、聖徳太子が自ら作ったとされる「十七条の憲法」の制定など、後の律令制へと発展する日本の国の基礎づくりが行われました。

以和為貴
（和を以て貴しと為す）

聖徳太子
「十七条憲法 板木」
（重文）の拓本部分
鎌倉時代（法隆寺蔵）
写真：法隆寺

現地で学ぼう！感じよう！

◎飛鳥にも「大仏さま」？飛鳥寺に祀られている日本最古の仏像。

飛鳥寺本尊・釈迦如来坐像（重文）「飛鳥大仏」　写真：飛鳥園

飛鳥寺本堂は、江戸時代後期の再建。創建当初は、中央に塔、その左右に東・西金堂、背後に中金堂があり、現在、日本最古の仏像で知られる本尊「飛鳥大仏」を祀る本堂がその位置にあったとされています。本尊の作者は、法隆寺本尊・釈迦三尊像で知られる渡来系仏師・鞍作鳥（止利仏師）。後世に補修されましたが、最近の調査では、お顔と右手の大半は造立当時のものといわれています。

●飛鳥寺（地図）48頁・G3／飛鳥寺式伽藍配置（16頁参照）
鞍作鳥（17頁参照）／飛鳥彫刻の特色（18頁・19頁参照）

◎聖徳太子（厩戸皇子）は飛鳥生まれ？「太子建立七大寺」の一つ、橘寺。

橘寺　写真：UPフォトス

聖徳太子は、厩戸皇子が亡くなられた後に贈られた名。推古天皇の兄・用明天皇の皇子で、幼い頃から聡明。「一度に10人の訴えを聞き分けた」など数多くの逸話が残されています。川原寺跡（弘福寺）の南向かいにある橘寺を訪ねてみよう。聖徳太子生誕の地として伝わる「太子建立七大寺」の一つで、35歳の姿の聖徳太子像がご本尊。境内には、愛馬・黒駒像や創建当初の塔礎石、人の心の善悪を表す二面石も。

●橘寺（地図）48頁・G3／愛馬・黒駒（15頁参照）

◎「石舞台古墳」は、誰のお墓？謎も多い日本最大級の方墳、横穴式石室。

石舞台古墳の石室入口　写真：UPフォトス

6世紀末から7世紀初め頃に築造されたとされる「石舞台古墳」。30数個の岩の総重量は約2300t、巨大な天井石は約77t。日本最大級の方墳で知られ、中大兄皇子と中臣鎌足に倒された蘇我入鹿の祖父・蘇我馬子の墓ともいわれています。発掘調査で築造当初の古墳の形も明らかに。なぜ、石室が露出しているのか、どうやって巨石を積み上げたのか謎も多い、日本最大級の横穴式石室の中にも入ってみよう。

●石舞台古墳（地図）48頁・G3／蘇我入鹿（09頁参照）

もっと知るなら！

聖徳太子（厩戸皇子）生誕の地に、「お華の浄土」。

橘寺の境内奥にある建物「往生院」を訪ねてみよう。阿弥陀さまがおられる道場の天井には著名な画家たちの奉納による260点もの華の天井画が。その競演ぶりは、まさに「華曼荼羅」の世界。

●橘寺（地図）48頁・G3

橘寺・往生院の天井画　写真：橘寺

推古天皇の豊浦宮（とゆらのみや）跡（向原寺：こうげんじ）
写真：UPフォトス

日本初の女性天皇・推古天皇。その誕生の裏話。

物部守屋討伐後、泊瀬部皇子が崇峻天皇として即位。蘇我馬子の操り人形になることを嫌った天皇と馬子の関係は険悪になり、馬子は刺客を送って天皇を暗殺。敏達天皇の太后・炊屋姫が推古天皇として即位した。

●豊浦宮跡（地図）48頁・F2

謎の石造物があちこちに。「亀石」の怖い伝説。

「猿石」や「酒船石」など、飛鳥には謎めいた石造物が点在。微笑ましい表情で人気の「亀石」には怖い伝説も。言い伝えでは、同じ場所で何度も顔の向きを変え、もし西を向いたら「大和国」が泥海に沈んでしまうのだとか。●亀石（地図）48頁・G2

「亀石」　写真：UPフォトス

おすすめ！体験スポット

奈良文化財研究所 飛鳥資料館

古代庭園の石造噴水再現や発掘資料の実物展示など。古代飛鳥の歴史・文化を楽しく学ぶ施設。庭園には飛鳥に点在する謎の石造物のレプリカがズラリ！

●（地図）48頁・F3
主な学習施設一覧（40頁参照）

飛鳥資料館（再現された古代噴水「須弥山石（しゅみせんせき）」）
写真：UPフォトス

「明日香の夢市」

明日香村のお米や加工品、手づくり小物を販売。2階のレストランでは、古代米を使った手づくりごはんも味わえる。　●（地図）48頁・G3

明日香の夢市　写真：一般財団法人 明日香村地域振興公社

「大化の改新」による政治改革。古代最大の内乱「壬申の乱」。

飛鳥宮跡、飛鳥水落遺跡、大和三山など

蘇我氏の最期。豪族による支配から、天皇統治の時代へ。

当時の天皇は「大王」と呼ばれ、力を持った豪族たちによって皇族から選ばれていましたが、蘇我馬子の孫・入鹿の時代になると、蘇我氏が政治の実権を握るようになりました。中臣鎌足は、舒明天皇の子・中大兄皇子に近づき、二人で蘇我入鹿殺害を計画。645年、皇子の母・皇極天皇の飛鳥板蓋宮で決行されました。蘇我入鹿の父・蝦夷も自宅に火を放ち自害。蘇我氏は滅亡し、実権を握った中大兄皇子による政治改革「大化の改新」がはじまりました。

●飛鳥板蓋宮跡（飛鳥宮跡）（地図）48頁・G3

蘇我入鹿の首塚　写真：UPフォトス

緊迫した東アジア情勢を背景に国を守ろうとした天智天皇。

当時の朝鮮半島は、高句麗・百済・新羅の三国時代でしたが、660年、中国・唐が百済を滅ぼしました。日本は兵を送り、百済再興を助けようとしましたが、「白村江の戦い」で唐・新羅の連合軍に大敗しました。中大兄皇子は、律令制度を導入し、唐の脅威に備えて、西日本各地に山城を築きました。667年、近江（滋賀県）へ遷都。近江大津宮で天智天皇として即位し、政治改革を進めました。

地方豪族を味方につけた大海人皇子に軍配。古代最大の内乱「壬申の乱」。

天智天皇の改革によって、豪族が支配していた土地は天皇のものとなり、国の役人を置いて管理され、日本初の戸籍づくりによって税金を集める仕組みが整えられました。また、豪族たちが守ってきた伝統や慣習、祭祀や呪術なども廃止されました。

671年、病床にあった天智天皇は、子・大友皇子を次の天皇にと考えていましたが、弟・大海人皇子（後の天武天皇）の存在が気になり、呼び寄せて皇位を継ぐ気があるのか真意を確かめました。大海人皇子は、身の危険を感じて出家し、吉野に逃れました。

天皇崩御後、大友皇子が自分を倒すための戦いの準備を進めているという報告を受けた大海人皇子は、先手を打って挙兵を決意。これが「壬申の乱」のはじまりです。

大海人皇子が近江へ進軍の途中、天智天皇の急速な国政改革に不満を抱いていた地方の豪族たちが味方につき、兵力を強化したことで、この戦いに勝利しました。

【祭祀】＝慰霊・鎮魂のために神々や祖先をまつること。【呪術】＝神・精霊などの神秘的な力に働きかけて願いを叶えようとする行為。【崩御】＝天皇や皇后が亡くなること。

談山神社（たんざんじんじゃ）・十三重塔（重文）
「談（かたら）い山」（多武峯：とうのみね）は、中臣鎌足と中大兄皇子が蘇我入鹿を倒す計画を密談した場所として伝わる。
●（地図）46頁（JR・近鉄桜井駅南口→バス「談山神社」下車すぐ）
写真：UPフォトス

甘樫丘（あまかしのおか）から飛鳥展望　丘の麓には、権勢を振るった蘇我馬子の子・蝦夷と孫・入鹿の邸があったと考えられている。　写真：国営飛鳥歴史公園飛鳥管理センター

現地で学ぼう！感じよう！

◎ここで見えているのは、天武天皇の宮跡？複数の宮跡が重なる「飛鳥宮跡」。

飛鳥宮跡のあたりは、飛鳥時代に複数の宮が置かれた場所。「飛鳥岡本宮（舒明天皇の宮）」から「飛鳥板蓋宮（蘇我入鹿殺害の現場、皇極天皇の宮）」、「後飛鳥岡本宮（皇極天皇が再び位についた斉明天皇の宮）」、「飛鳥浄御原宮（大海人皇子が、天武天皇として即位した宮）」へと変遷し、今、ここで見えているのは「飛鳥浄御原宮跡」。一番上層の遺構であることが、発掘調査によってわかりました。

●飛鳥宮跡（地図）48頁・G3
【宮】＝天皇の住まい、天皇が政治を行った場所。

飛鳥宮跡　写真：UPフォトス

◎時間の基準を作るのも天皇の仕事？日本で初めて造られた水時計。

日本で初めて造られた時計は、「漏刻（漏剋）」と呼ばれる水時計。古代中国の皇帝は、元号を決め、暦をつくり、時間の基準を作りました。中国・唐を手本に政治改革を進めた中大兄皇子も、それに倣って水時計を造り、鐘を鳴らして国民に時間を知らせました。飛鳥水落遺跡は、その施設の遺構。飛鳥資料館に展示されている再現模型で仕組みを見てみよう。

●飛鳥水落遺跡（地図）48頁G3
飛鳥資料館（地図）48頁・F3／主な学習施設一覧（40頁参照）
【遺構】＝過去の建造物を知る手がかりとなる石組や柱穴など。

飛鳥水落遺跡　写真：古都飛鳥保存財団

◎男女の三角関係を詠んだ万葉歌も？古代から愛されてきた「大和三山」。

額田王は、大海人皇子の妃の一人でしたが、中大兄皇子にも愛されたという説があります。「香具山は　畝火ををしと　耳梨と　相あらそひき　神代より　かくにあるらし　古昔も　然にあれこそ　うつせみも　嬬を　あらそふらしき」。中大兄皇子が弟と額田王を奪い合った関係を「大和三山」に見立てて詠んだともいわれている万葉歌を味わってみよう。

●大和三山・畝傍山（地図）48頁・F1
香具山（地図）48頁・F3／耳成山（地図）48頁・E2

大和三山遠望（左から香具山・畝傍山・耳成山）　写真：高橋良典

おすすめ！体験スポット

奈良県立万葉文化館

見て・聞いて・触れて、万葉の世界を体感できる。万葉歌人をテーマにした人形・映像による創作歌劇「万葉劇場」や歌垣（男女が歌をかけあって求愛する古代行事）を再現した「歌の広場」、日本画を中心とした展覧会なども見どころ。中庭には、「富本銭」が鋳造されたとされる飛鳥池工房跡（炉跡群復原）の展示も。

●（地図）48頁・G3／主な学習施設一覧（40頁参照）
主な体験プログラム一覧（41・42頁 D06）

奈良県立万葉文化館外観と館内の「歌の広場」
写真：奈良県立万葉文化館

もっと知るなら！

時代が違っても、天下分け目の決戦場は「関ケ原」？

「壬申の乱」の舞台となった不破関（岐阜県不破郡関ケ原町）は、「不破の道」と呼ばれた古代東山道の関所の一つ。「壬申の乱」の翌年（673）に設けられ、約100年間、畿内と東国の間の通行を監視した関所のルーツ。東海道の鈴鹿関、北陸道の愛発関（後の逢坂関）と合わせて三関という。

『万葉集』って、どんな歌集？

『万葉集』は、約1300年前に編集された日本最古の歌集。約4,500首の作者は天皇・貴族・兵士・庶民など、さまざま。まだ平仮名がなかったので、原文は日本語の発音を漢字の「音」にあてて使われた「万葉仮名」などで書かれている。ほかに、「二八十一（2と9×9）」を「憎く」と読ませるなど、洒落の効いた表現も。

（万葉集 巻十一 −2542）

大化
令和

日本最初の元号は？令和の由来と、それまでの違い。

日本初の元号は孝徳天皇即位にともなって定められた「大化」。古代中国に倣い儒教の経典『四書五経』から引用された。元号「平成」まで出典は中国の古典だったが、「令和」の出典は初めて我が国の書物、日本最古の歌集『万葉集』から。奈良時代の初めに催された「梅花の宴」で詠まれた歌（32首）をまとめた序文からの引用。

律令の整備、公式の歴史書編纂。日本初の都城「藤原京」造営。

藤原宮跡、天武・持統天皇陵、キトラ古墳など

7種・300万本のコスモスが咲く藤原宮跡・花ゾーンと後ろに「大和三山」の一つ香具山（手前の小高い山） 写真：高橋良典

強い絆で結ばれていた天武天皇と皇后・鸕野讃良皇女。

「壬申の乱」に勝利した大海人皇子は、673年に飛鳥浄御原宮で天武天皇として即位。天智天皇の改革を受け継ぎ、律令の整備、歴史書の編纂、日本初の都城の造営に着手しました。皇后は、吉野での隠棲にも行動を共にした、天智天皇の娘・鸕野讃良皇女。天武天皇の政治を補佐し、崩御後は持統天皇として即位し、夫の遺志を引き継ぎました。亡き夫のために持統天皇が造ったとされる八角形の古墳、天武・持統天皇陵には、二人が合葬されています。

●飛鳥浄御原宮跡（飛鳥宮跡）（地図）48頁・G3
天武・持統天皇陵（地図）48頁・G2／「壬申の乱」（09頁参照）

【編纂】＝多くの文献を集めて、本にまとめること。
【隠棲】＝俗世間を逃れて静かに住むこと。
【崩御】＝天皇や皇后が亡くなること。

天武・持統天皇陵 写真：UPフォトス

日本初の都城 大和三山に囲まれた「藤原宮」。

藤原京は、大和三山（畝傍山・香具山・耳成山）を結んだ中心に藤原宮を置き、その四方に街区が碁盤の目のように広がる日本初の計画都市でした。天武天皇が構想し、694年、持統天皇により飛鳥浄御原宮から遷都されました。大和三山を見渡せる藤原宮跡や天皇が皇后のために建立した本薬師寺跡などから往時が偲ばれます。

●大和三山・畝傍山（地図）48頁・F1
香具山（地図）48頁・F3／耳成山（地図）48頁・E2
藤原宮跡（地図）48頁・E2／本薬師寺跡（地図）48頁・F2

『日本書紀』巻第十残巻（国宝） 平安時代（奈良国立博物館蔵）
写真：奈良国立博物館

首都・藤原京、「大宝律令」制定。国家としての「日本」を海外へ発信。

持統天皇の孫・文武天皇の時代には、中国・唐に倣いながらも当時の日本の社会情勢に適した律令制度に見直され、701年、日本で初めて「律（刑法）」「令（行政法）」が揃った「大宝律令」が完成。翌年、唐との国交回復のために遣唐使が派遣され、国家としての「日本」をアピールしました。さらに、国内向けに「万葉仮名」で書かれた『古事記』とは違って、中国・東アジア諸国に向けて、漢文で書かれた公式の日本の歴史書『日本書紀』の編纂がはじまりました。

●「万葉仮名」（10頁参照）

現地で学ぼう！感じよう！

◎奈良時代の都「平城京」をしのぐ大きさだったといわれる「藤原京」の全容。

16年間、持統・文武・元明天皇三代が治めた藤原京は、大和三山（畝傍山・香具山・耳成山）をすっぽりと飲み込むほどの大きさだったといわれています。平城京のように碁盤の目のような区画に整備されていましたが、宮城は、都の最北端・中央に置かれた平城京と違って、都の中心に置かれていました。橿原市藤原京資料室に、1／1000の藤原京復元模型が展示されているので、その全容を感じてみよう。

●橿原市藤原京資料室（地図）48頁・E2
平城京条坊図（29頁参照）／元明天皇（30頁参照）

1/1000の藤原京復元模型 写真：橿原市

◎キトラ古墳石室の壁画に描かれているのは？天の四方を司る神「四神」とは？

「四神」とは、古代中国の四方の星宿（星座）を動物の姿に象徴した4体の神で、石室の東壁に青龍、南壁に朱雀、西壁に白虎、北壁に玄武（亀と蛇が絡まった姿）が描かれています。キトラ古墳壁画体験館 四神の館で、キトラ古墳壁画の謎を解いたり、渡来人の文化を学んでみよう。特別史跡キトラ古墳の前には、「四神」の拓本を採ることができる乾拓板も。

●キトラ古墳壁画体験館 四神の館・特別史跡キトラ古墳（地図）48頁・H2
「四神（四禽）」（30頁参照）
主な学習施設一覧（40頁参照）

キトラ古墳・四神図「玄武」〈国宝〉 写真：奈良文化財研究所

◎キトラ古墳石室の天井に描かれた、東アジア現存最古の本格的な「天文図」とは？

キトラ古墳壁画体験館 四神の館 写真：国営飛鳥歴史公園

7世紀末から8世紀初め頃に造られたキトラ古墳石室の天井に描かれた本格的な天文図は、東アジア現存最古のものとされています。地球の「歳差運動」による地軸のズレの周期をコンピュータで解析した結果、西暦400年頃、中国・唐の首都、長安・洛陽（北緯34度付近）から見た星空ではないかという研究結果も。キトラ古墳壁画体験館 四神の館で、発掘調査・研究に関するさまざまな展示を見てみよう。

●キトラ古墳壁画体験館 四神の館（地図）48頁・H2
主な学習施設一覧（40頁参照）

おすすめ！体験スポット

奈良県立 橿原考古学研究所附属博物館

旧石器時代から鎌倉・室町時代まで、「目で見る日本の歴史」をテーマに、出土品の実物展示や映像解説など。考古学を楽しむ体験学習も。

●（地図）48頁・F1／主な学習施設一覧（40頁参照）
主な体験プログラム一覧（41・42頁 D04）

ひと足のばして中世の町並み散策へ！

橿原市 今井町の町並み

今井町・今西家住宅（重文） 写真：高橋良典

戦国時代に建てられた本願寺の道場の寺内町として発展し、江戸時代には「大和の金は今井に七分」といわれたほど商業の町として栄えました。全国で最も多い約500軒が残る重要伝統的建造物群保存地区で、今も暮らしが息づいています。 ●（地図）48頁・E1

もっと知るなら！

国号「日本」と「天皇」の称号は、いつ生まれたの？

「大宝律令」制定の翌年（702）に遣唐使が派遣され、それまで「倭国」と呼ばれていた日本が初めて「日本国」を名乗った記録が中国の史書に記されている。「天皇」と「皇帝」は漢文で同じ意味で、「中国皇帝」と対等だと主張するために天武天皇の時代に生まれ、孫・文武天皇の頃に中国に対して使われ始めたとされている。

「飛鳥美人」って、どんな美人？どんなファッション？

高松塚古墳・西壁面の女子群像（現状模写）
写真：古都飛鳥保存財団

高松塚古墳は、藤原京の時代に造られた壁画古墳。石室西壁面に描かれた色鮮やかな女子群像は「飛鳥美人」の名で有名に。「高松塚壁画館」に展示の壁画（模写）から古代の美人像や貴人の衣装を調べてみよう。

●高松塚壁画館（地図）48頁・H2

なぜ、「四神」のシンボルカラーは、青・赤・白・黒なの？

四方を司る「青龍（青または緑）」「朱雀（赤または朱）」「白虎（白）」「玄武（黒または暗い紫）」の4色は、古代中国の思想の「五神」の色に由来し、それぞれの方角の干支の動物、卯・午・酉・子の排泄物の色。「五神」では、中央が「黄龍（皇帝）」で、黄または金色がシンボル。

〈学びの旅のテーマ〉
世界に誇る飛鳥様式の木造建築と仏教美術。「聖徳太子」ゆかりの地を訪ねて！

聖徳太子（厩戸皇子）

仏教を広めることで、
より良い国の基礎づくりをしよう！

注）人物イラストについては、イメージで表現しており、
学術的な正確さを追求するものではありません。

推古天皇の摂政を務め、日本の国の基礎づくりに貢献。

聖徳太子（厩戸皇子）は、推古天皇の摂政として弱冠20歳で政界入り。仏教を深く信仰するとともに、天皇を補佐し、「冠位十二階」や「十七条の憲法」を制定するなど、国の政治に精力的に取り組みました。また、斑鳩宮に移り住んだ後、607年には中国・隋に対して、国書を持たせた小野妹子を派遣。翌年、隋から裴世清が遣わされ、隋との国交が始まるなど、外交面においても多大に貢献しました。

●「冠位十二階」「十七条の憲法」（07頁）
【摂政】＝幼い天皇・女性天皇に代わって政治を行うこと。
【国書】＝元首が、その国の名をもって発する外交文書。

仏教の理想を追求し、お経の注釈書『三経義疏』を著す。

政治の表舞台に立ち、国政を整備した聖徳太子は、仏教の理念に深く通じていました。606年、推古天皇の要請で、お経の講義を任されましたが、さらに、『法華経』『勝鬘経』『維摩経』を学び、その注釈書『三経義疏』を自ら著しました。生涯出家せずに仏教の理想を追求し、晩年には「世間は虚仮なり。唯仏のみ是れ真なり。」（世の中は仮のもので、ただ仏だけが真実である）という言葉を遺しました。

【理念】＝物事のあるべきすがた。根本の考え。

主な学習スポットとモデルコース

←…… 徒歩　←— 電車　⇐ バス

飛鳥様式を伝える法隆寺の木造建築と仏教美術を学ぶ。

●所要時間＝約4時間
（地図）49頁・法隆寺伽藍見学マップ参照

JR法隆寺駅

⇐ 約8分（「法隆寺参道」下車徒歩約4分）

法隆寺 南大門〈国宝〉
法隆寺の玄関にあたる総門。現在の南大門は、室町時代に再建された建物。

←…… 約2分

法隆寺 西院伽藍
●見学時間＝約1時間

中門〈国宝〉
2階の高欄は、金堂と同じ飛鳥様式の建築。中央に柱があるのが珍しい。

写真：飛鳥園

←…… 約3分

西円堂〈国宝〉
奈良時代に造られた本尊・薬師如来像は、日本最大級の乾漆像で知られる。

写真：飛鳥園

←…… 約3分

五重塔〈国宝〉
遠近法で高く見える造り。建物の揺れを減らす制振構造は、「東京スカイツリー」にも応用された。

写真：飛鳥園

←…… すぐ

金堂〈国宝〉
二層からなる優美な構え。初期の仏教建築を今に伝える貴重な建物。

写真：飛鳥園

釈迦三尊像〈国宝〉
聖徳太子の等身大で造像されたと伝わる、金堂の本尊。渡来系仏師・鞍作鳥（止利仏師）の作。

写真：飛鳥園

四天王像〈国宝〉
異国情緒漂う飛鳥仏の特徴をよく表している。渡来系仏師・山口大口費らの作。

写真：飛鳥園

←…… すぐ

大講堂〈国宝〉
平安時代に再建された建物。本尊・薬師三尊像は、再建時に造られた仏像。

←…… すぐ

回廊〈国宝〉
法隆寺特有のエンタシス柱。金堂・五重塔とともに、西院伽藍を形づくっている。

写真：飛鳥園

←…… 約3分

法隆寺 大宝蔵院
（西宝蔵・百済観音堂・東宝蔵）
●見学時間＝約1時間

夢違観音像〈国宝〉
悪夢を吉夢に違える仏さま。三面宝冠、子どものような丸顔は、白鳳仏の特徴。

写真：飛鳥園

玉虫厨子〈国宝〉
推古天皇が所持していたと伝わる仏殿。下層に描かれているのは、釈迦の前世の物語。

写真：飛鳥園

百済観音像〈国宝〉
流麗な姿、やさしい顔立ち。夢殿観音像と違った印象を与える謎めいた飛鳥仏。

写真：飛鳥園

←…… 約4分

東大門〈国宝〉
西院と東院の間に建つ門。「中ノ門」とも呼ばれる。奈良時代を代表する建物。

←…… 約5分

法隆寺 東院伽藍
●見学時間＝約40分

夢殿〈国宝〉
奈良時代、行信によって斑鳩宮跡に創建された東院の中心に建てられた八角堂。

写真：飛鳥園

救世観音像〈国宝〉
夢殿の秘仏・本尊で、等身大の聖徳太子像と伝わる飛鳥仏。金箔・宝飾も美しい。

写真：飛鳥園

←…… 約2分

中宮寺
●見学時間＝約30分

菩薩半跏像〈国宝〉
尼寺・中宮寺の本尊。聖徳太子の母の姿を写したともいわれる。

写真：飛鳥園

天寿国曼荼羅繍帳〈国宝〉（複製）
聖徳太子の死を悲しんだ妃・橘大郎女が織らせたと伝わる日本最古の刺繍。

写真：飛鳥園

←…… 約8分
⇐ 約6分（「中宮寺前」からバスでJR法隆寺駅へ）

JR法隆寺駅

〈オプションコース〉
JR法隆寺駅から足を延ばして信貴山朝護孫子寺へ。

●移動時間＝約30分／（地図）46頁参照

JR法隆寺駅
← 約3分
JR王寺駅
（のりかえ）
近鉄王寺駅
← 約2分
近鉄信貴山下駅
⇐ 約12分
「信貴大橋」下車
←…… 約5分
信貴山朝護孫子寺
←…… すぐ
信貴山玉蔵院（泊）

聖徳太子ゆかりの地信貴山を訪ねて。

寅年・寅日・寅の刻。聖徳太子（厩戸皇子）が、仏敵・物部守屋討伐の戦勝を信貴山で祈願し、出現した毘沙門天が必勝の秘策を授けたことから「寅」が信貴山のシンボルに。聖徳太子ゆかりの霊山・信貴山の玉蔵院では、法話と瞑想、写経・写仏などの体験学習も。

●（地図）46頁
●主な体験プログラム一覧（41・42頁 A11）

写真：奈良県ビジターズビューロー

法隆寺・西院伽藍（全景）　写真：飛鳥園

聖徳太子創建と伝わる法隆寺。世界最古の木造建築群。

〈西院伽藍〉金堂・五重塔・回廊など〈東院伽藍〉夢殿など

用明天皇の願いを受継いで創建された法隆寺（斑鳩寺）。

聖徳太子（厩戸皇子）の父・用明天皇が、自身の病気快復のために、お寺と仏像を造りたいと願いましたが、完成を見ぬまま崩御。607年、聖徳太子と推古天皇が天皇の願いを受け継いでお寺を建立し、薬師如来像を本尊として祀ったのが法隆寺（斑鳩寺）のはじまりです。現在の金堂本尊の向かって右側の薬師如来坐像が、その由緒を伝えています。創建から1400年の時を経て守られてきた法隆寺は、飛鳥様式を今に伝える貴重な木造建築や仏教美術の宝庫です。

●法隆寺・金堂（地図）49頁・I‐1／聖徳太子（厩戸皇子）・推古天皇（07・08頁参照）

【崩御】＝天皇や皇后が亡くなること。

法隆寺・西院伽藍 金堂〈国宝〉　写真：飛鳥園

西院と東院。二つの伽藍で構成されている現在の法隆寺。

670年、聖徳太子創建と伝わる法隆寺（若草伽藍）が全焼してしまい、飛鳥時代後期から奈良時代にかけて再建したとされるのが現在の西院伽藍です。また、奈良時代の高僧・行信によって、聖徳太子が飛鳥の地から移り住んだ斑鳩宮の跡に創建されたのが東院伽藍で、中心に建立された美しい八角堂（夢殿）の本尊は、等身大の聖徳太子像と伝わる秘仏・救世観音菩薩像です。

●法隆寺・西院伽藍（地図）49頁・I‐1／東院伽藍（地図）49頁・I‐3／夢殿本尊・救世観音菩薩像（17頁参照）

法隆寺・東院伽藍 夢殿〈国宝〉
写真：飛鳥園

斑鳩宮から飛鳥小墾田宮へ、愛馬に乗って通勤した聖徳太子。

605年、聖徳太子は、飛鳥の地から20km離れた斑鳩宮に移り住みました。理由は、飛鳥よりも難波津に近く、軍事・外交面で適した場所だったからともいわれています。斑鳩宮から飛鳥へ斜めに真っ直ぐに延びる「太子道（筋違道）」は、聖徳太子が愛馬・黒駒に乗って通勤したといわれる道。その名残の道中には「腰掛石」など、ゆかりの場所があります。

●黒駒像（橘寺）（08頁参照）

太子道（筋違道）の白山神社
「腰掛石」（奈良県磯城郡三宅町）
写真：UPフォトス

現地で学ぼう！感じよう！

◎中国・朝鮮半島にも現存しない、飛鳥様式を今に伝える法隆寺金堂・五重塔。

法隆寺・金堂〈国宝〉高欄部分　写真：飛鳥園

金堂・五重塔・中門・回廊は、中国・朝鮮半島にも現存しない飛鳥様式の木造建築。二層からなる金堂や上層になるほど小さく造られた五重塔は遠近法で高く見え、ともに1階屋根の下に付けられた裳階（庇）が景観を優美に見せています。金堂2階の高欄を見てみよう。卍を崩した文様の組物、それを支える人字形の割束、雲形の斗栱（軒を支える柱の組物）など、すべて法隆寺特有です。

●法隆寺金堂・五重塔（地図）49頁・I‐1

◎地震で倒れた記録を見ない、法隆寺五重塔。建物の揺れを減らす構造とは？

東京スカイツリー® ©TOKYO-SKYTREE

五重塔内に入ってみよう。建物の中心の太い柱「心柱」と、「心柱」を中心に各層の重さを支える4本の柱「四天柱」を囲むように、仏教説話の重要な場面を表す塑像群が祀られています。その奥の「心柱」は、各層の梁や柱に固定されず吹き抜けた構造で、地震の時には、建物本体と「心柱」が異なる周期で揺れ動き、振動を抑えます。この1400年前の建物の制振構造を応用したのが「東京スカイツリー」です。

●法隆寺五重塔（地図）49頁・I‐1／塑像（19・20頁参照）

◎お寺によって堂塔の配置が違うのはなぜ？時代とともに変化した理由。

法隆寺・西院伽藍　写真：飛鳥園

創建当初の法興寺（飛鳥寺）では、釈迦の遺骨を祀る供養塔・五重塔がお寺の中心でしたが、藤原京や平城京の時代になると、本尊の仏像を祀る金堂が主役に。祈りの対象が、塔から仏像へと変わり、堂塔の配置も変化していきました。さらに、塔は東塔と西塔に。法隆寺・薬師寺・東大寺（塔跡）など、堂塔の配置の違いを比べてみよう。（下図参照）

●法興寺（飛鳥寺）（07・08頁参照）／法隆寺・西院伽藍（地図）49頁・I‐1
薬師寺（31・32頁参照）（地図）47頁・B‐1
東大寺（23・24頁参照）（地図）47頁・C‐2

飛鳥時代から奈良時代のお寺の堂塔配置の移り変わり

もっと知るなら！

眺めのよい小高い丘の上に“峯のお薬師さま”？

法隆寺・西円堂〈国宝〉　写真：飛鳥園

西院伽藍北西の小高い丘の上に建つ八角堂・西円堂は、718年、光明皇后の母・橘夫人発願による創建で、奈良時代に造られた日本最大級の乾漆像・薬師如来坐像がご本尊。丘の上からは五重塔を望む眺望も楽しんで！

●法隆寺・西円堂（地図）49頁・I1

中央に柱が建ち、入口が2つ？珍しい法隆寺の中門。

お寺の門は、こちらの世界から清浄な仏さまの世界への入口で、4本の柱の間を抜ける3つの入口が一般的。ところが法隆寺の中門は入口が2つで中央に柱がある珍しい門。

●法隆寺・中門（地図）49頁・I1

法隆寺・中門〈国宝〉　写真：飛鳥園

西院伽藍・回廊の柱に触れてみよう。1400年を経た部分は温かい？

西院伽藍・回廊の柱の白っぽい部分は、後の時代に修繕された箇所で少し冷たく感じるが、茶色っぽい古い柱の部分は、木材奥深くまで含まれていた水分がすっかり抜けて温かく感じる。この温かさが、1400年の時間を経た証。

●法隆寺西院伽藍・回廊（地図）49頁・I1

法隆寺・西院伽藍 回廊〈国宝〉　写真：飛鳥園

渡来系仏師による仏像制作。飛鳥様式を伝える法隆寺の寺宝。

法隆寺金堂・釈迦三尊像、夢殿・救世観音菩薩像など／中宮寺・菩薩半跏像

寺院建築・仏像制作で活躍。大陸から渡来してきた工人たち。

法隆寺金堂の本尊・釈迦三尊像の作者で知られる鞍作鳥（止利仏師）は、早くから日本に渡来していた司馬達等の孫で、馬の鞍を作る仕事をしていましたが、その金工技術を活かし、銅造に鍍金を施した金銅仏を多く造ったといわれています。同じく金堂の四天王像の作者・山口大口費は、司馬達等よりも、さらに古くから渡来していた豪族・東漢氏の出身。飛鳥に住んでいた渡来人たちは、大陸の進んだ文化を日本に伝え、技術者集団として活躍しました。

●法隆寺・金堂（地図）49頁・I－1／鞍作鳥（08頁参照）

法隆寺金堂本尊・釈迦三尊像〈国宝〉　写真：飛鳥園

救世観音菩薩像との出会い。仏像に魅せられた米国の学者。

明治時代に、政府は日本の文化財の海外流出を防ぐため、国宝制度が導入され、米国から招かれた学者・フェノロサと岡倉天心らが各地のお寺を調査しました。日本の仏像の素晴らしさを知ったフェノロサは、数百年の間、秘仏として守られてきた夢殿の仏像を、ぜひ調べさせてほしいと申し出、交渉の末に実現しました。今でも、美しい宝飾類や金箔が残っています。

●夢殿（地図）49頁・I－3

法隆寺の東にひっそりと。微笑に惹かれる飛鳥彫刻の傑作。

聖徳太子（厩戸皇子）と母・穴穂部間人皇后ゆかりの中宮寺は、飛鳥時代、斑鳩宮を挟んで僧寺・斑鳩寺（法隆寺）と対照的に創建された尼寺。本尊・菩薩半跏像（寺伝・如意輪観音）は、皇后の姿を写したともいわれています。本堂前には、歌人・會津八一が詠んだ「みほとけの あごとひぢとに あまでらの あさのひかりの ともしきろかも」の歌碑があります。

●中宮寺（地図）49頁・I－3／斑鳩宮（15頁参照）

中宮寺本尊・菩薩半跏像〈国宝〉　写真：飛鳥園

法隆寺夢殿本尊（秘仏）・観音菩薩立像（救世観音像）〈国宝〉　写真：飛鳥園

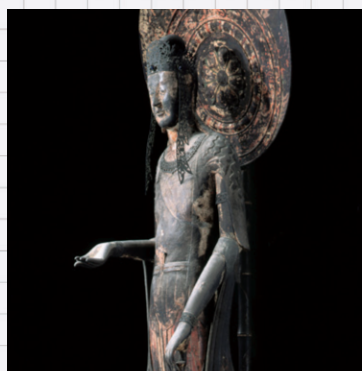
現地で学ぼう！感じよう！

◎飛鳥時代前期と飛鳥時代後期（白鳳期）に造られた仏像の特徴とは？

観音菩薩立像（夢違観音像）〈国宝〉（白鳳仏）　写真：飛鳥園

飛鳥時代と、その後期（白鳳期）に造られた代表的な仏像を鑑賞できるのも法隆寺ならではの魅力。飛鳥仏の観音菩薩像は、山形宝冠を被り、面長で神秘的な表情をしているのに対し、白鳳仏は、正面・左右に飾りが付いた三面宝冠を被り、子どものような丸顔をしています。大宝蔵院（宝蔵）で、厳粛な印象を与える飛鳥仏から、快活で明朗な印象を与える白鳳仏へと変遷していった仏像彫刻の作風の違いを見てみよう。

●大宝蔵院（宝蔵）（地図）49頁・I－2／白鳳期の様式（31・32頁参照）

◎『大和古寺風物誌』の著者・亀井勝一郎を魅了した「百済観音像」とは？

観音菩薩立像（百済観音像）〈国宝〉（飛鳥仏）　写真：飛鳥園

夢殿本尊・救世観音菩薩像は、飛鳥彫刻の特徴をよく表した仏像です。一方、同じ飛鳥仏でも百済観音堂本尊・百済観音菩薩像は、随分と印象が違います。『大和古寺風物詩』を著した文芸評論家・亀井勝一郎は、この観音像と出会い、「仏像は拝みに行くものだと、そのときはじめてこの単純な理を悟った」*と同書で語っています。大宝蔵院（百済観音堂）を拝観し、亀井勝一郎が感じた、その魅力を探ってみよう。

●大宝蔵院（百済観音堂）（地図）49頁・I－2

*亀井勝一郎著『大和古寺風物詩』新潮社刊〜「法隆寺 初旅の思い出」から引用

◎飛鳥建築様式を伝える「玉虫厨子」。その台座に描かれている物語とは？

玉虫厨子〈国宝〉　写真：飛鳥園

大宝蔵院（宝蔵）に安置されている玉虫厨子は、推古天皇が所持していたと伝わる厨子で、上層の宮殿部は、飛鳥時代の建築様式を伝える貴重なものです。台座の四面には、釈迦の前世の物語が描かれていて、中でも「捨身飼虎」「施身聞偈」の図が有名。釈迦が悟りを開くことができたのは、前世でも、そのまた前世でも善行を積んだからだという仏教の教えを表しています。解説もあるので、その物語を見てみよう。

●大宝蔵院（宝蔵）（地図）49頁・I－2／推古天皇（07・08頁参照）

もっと知るなら！

聖徳太子（厩戸皇子）は、背の高い人だった？

聖徳太子の等身大で造られたと伝わる金堂本尊・釈迦三尊像（中尊）と夢殿本尊・観音菩薩立像（救世観音像）。坐像の金堂本尊の座高を2倍すると175cmに。夢殿本尊は178cm。当時の日本人の平均身長を考えると、聖徳太子は背の高い人だったのかも。

●法隆寺金堂（地図）49頁・I1／夢殿（地図）49頁・I3

中宮寺本尊・菩薩半跏像の脇に、もう一つの国宝が？

中宮寺本尊・菩薩半跏像の向かって左前に安置されているのが国宝「天寿国曼荼羅繍帳」の複製。聖徳太子（厩戸皇子）が亡くなられた後、太子が昇った浄土の様子を、妃・橘大郎女が宮中の女官たちに織らせたと伝わる日本最古の刺繍。

●中宮寺（地図）49頁・I3

中宮寺・天寿国曼荼羅繍帳〈国宝〉
写真：飛鳥園

木彫の飛鳥仏は、ほとんどが樟材で造られた。

古代インドでは、香りの良い白檀の木で仏像が造られたが、日本に白檀の木がなかったため、飛鳥時代の木彫仏は、国産で香りの良い樟材が使われた。そして、奈良時代には榧材、平安時代には檜材が使われるようになった。奈良は、樟・榧・檜の産地の一つ。

おすすめ！体験スポット

法隆寺大宝蔵院

百済観音菩薩像を安置する百済観音堂を中心とした法隆寺の宝物殿。飛鳥時代後期（白鳳期）に造像された夢違観音像をはじめ、1400年守られてきた、法隆寺の貴重な寺宝を鑑賞。

●（地図）49頁・I2

法隆寺・大宝蔵院（百済観音堂）
写真：飛鳥園

仏像入門

仏像は、時代を越えて私たちに何を語りかけているのでしょう。

奈良県は仏教美術の宝庫。国宝に指定されている木造建築と仏像の数は日本一です。なかでも、飛鳥時代から奈良時代(7世紀〜8世紀)にかけて造られた仏像は貴重な文化財であるとともに、1200年以上の時を越えて、当時の人々の「祈り」を今に伝えています。

いつごろから仏像は造られるようになったのでしょう。

紀元前5世紀頃にインドに生まれ、悟りを開き、仏教を開いたお釈迦さまが亡くなられてから約500年後、最初の仏像が造られました。それまでは、聖なる存在であるお釈迦さまの姿を表わすことは許されず、信者たちはお釈迦さまの遺骨を祀る仏塔(お寺の塔の起源)や、お釈迦さまの足裏をかたどった「仏足石」、仏法の教えをシンボルにした「法輪」などを信仰の対象としていました。しかし、どうしてもお釈迦さまの姿そのものを拝みたくなったのでしょう。

やがて「大乗仏教」という新しい仏教の流れが生まれると、観音菩薩・弥勒菩薩・薬師如来・阿弥陀如来など、さまざまな仏が信仰されるようになり、仏像の種類が増えていきました。

仏像には、どんな種類があるのでしょう。

如来

「真理を悟った者」の意味で、悟りを開いたお釈迦さまの姿がモデル。出家後なので、衣装は衣一枚と質素です。私たちの世界とは異なる浄土に住むのが基本です。釈迦如来・薬師如来・阿弥陀如来など。

菩薩

「悟りを求める者」の意味で、王子時代のお釈迦さまの姿がモデル。出家前なので、インドの王族の豪華な装飾品をまとっています。私たちの世界に住んでいる仏です。観音菩薩・弥勒菩薩・文殊菩薩など。

天・天部

元々は、古代インドの神々でしたが、仏教が広まってからは、仏教の守護神に。男女の性別があります。梵天・帝釈天・四天王(持国天・増長天・広目天・多聞天)など。

明王

密教の仏さまで、仏法に従わない者たちを戒めるため、怒りの形相で睨みつけています。顔・手足がいくつもあって、手には武器を持っています。不動明王・降三世明王・愛染明王など。

東大寺・戒壇堂 四天王立像〈国宝〉(広目天像) 奈良時代
※東大寺ミュージアムに安置　写真：飛鳥園

室生寺・釈迦如来坐像〈国宝〉平安時代　※室生寺寳物殿に安置
写真：飛鳥園

西大寺愛染堂本尊(秘仏)・愛染明王坐像(重文) 鎌倉時代
写真：飛鳥園

薬師寺金堂本尊・薬師三尊像〈国宝〉(日光菩薩像) 飛鳥時代後期(白鳳期)
写真：飛鳥園

各時代の造られ方は、どんな特徴なのでしょう。

【飛鳥時代】

鋳造して金メッキする金銅仏が主流でした。前期は、痩せ型で面長、杏仁形(あんずの種のような形)の目や古式の微笑(アルカイックスマイル)など。後期(白鳳期)は、子どものように肉づきのよい丸顔に。

【奈良時代】

金銅仏の他に、塑像(粘土で造形)や乾漆像(木粉を混ぜた漆で造形)なども造られました。脱活乾漆像(漆で布を固め、中が空洞)には、高価な漆が多く使われました。

【平安時代〜鎌倉時代】

平安時代は木彫仏が主流で、たくましい姿から優美な姿へ、一木造から寄木造へと変化していきます。鎌倉時代には躍動的で写実的な仏像が造られ、目に水晶をはめる「玉眼」の技法がさかんになりました。

仏像は、色々な手の形で、何を伝えているのでしょう。

仏像が手の指を結んだ形「印相」には、仏さまのメッセージが込められています。たとえば、手を挙げて手のひらを外に向ける施無畏印は、人々の畏れを取り除くポーズ。左右の指でそれぞれ輪を作るのは、極楽浄土から迎えに来るポーズです。

仏像が手に持つ道具は、何を表しているのでしょう。

仏像が手に持つ「持物」は、仏さまの法力やご利益を表す道具。薬師如来像は、万病に効く「薬壺」を。観音菩薩像は、清浄な心を表す「蓮華」と、穢れを浄める水の入った「水瓶」を持っています。

唐招提寺・金堂 千手観音菩薩立像〈国宝〉部分
写真：飛鳥園

元々は、腕が1000本あったとされる唐招提寺金堂の千手観音菩薩像は、左右に広がる953本の腕のうち40本の手に、人々を心の迷いから救い出す、さまざまな道具を持っています。

仏像の衣の襞・文様にも、注目してみましょう。

仏像の拝観では、顔の表情や手のポーズだけでなく、衣文(衣の襞)や懸裳(台座に垂れ下がった衣)も見どころ。室生寺の釈迦如来坐像は、さざ波のように美しい衣文のリズム。法隆寺金堂本尊・釈迦三尊像(中尊)の揺らめくような曲線の文様が印象的な懸裳など。これらは、仏さまの力をより強く感じさせる表現法にもなっています。

●法隆寺金堂本尊・釈迦三尊像(17頁参照)

もっと知るなら！

それぞれの如来の脇に立つ菩薩は決まっている。

如来像の左右の脇に立つ菩薩像は、如来を補佐する仏さまで、釈迦如来の脇には、文殊菩薩と普賢菩薩。薬師如来の脇には、日光菩薩と月光菩薩。阿弥陀如来の脇には、観音菩薩と勢至菩薩。中央の如来像と合わせて、それぞれ「釈迦三尊像」「薬師三尊像」「阿弥陀三尊像」といいます。

アフロヘアの可愛らしい阿弥陀さま。

大きく膨れ上がったヘアスタイルの五劫思惟阿弥陀如来坐像。一辺が４千里(一説に約２千㎞)もある大きな石を、100年に一度、天女が降りてきて羽衣で撫で、擦り切れて無くなるまでの時間が一劫。その５倍、つまりほとんど永遠と言ってもよいほどの長い間、すべての人々を救いたいと考えに考え続けた末の「如来」の姿です。

十一面観音菩薩の頭上にはどうしてたくさんの顔が？

頭上の前後左右に10面と、髻(髷)の上に1面。合わせて11の顔を持つ十一面観音菩薩像。顔が11もあるのは、全方向を向いていることを示しており、世界のどこであっても、苦しみ悲しみのなかで観音菩薩の助けを求めている人に気づき、救ってくれる仏として信仰されています。

薬師寺金堂本尊・薬師三尊像〈国宝〉
写真：飛鳥園

東大寺勧進所・五劫思惟阿弥陀如来坐像(重文)　写真：飛鳥園

聖林寺(桜井市)・十一面観音菩薩立像〈国宝〉部分(天平後期彫刻の傑作)
写真：飛鳥園

「じ・ぞう・こう・た」と覚えましょう。

この世界を東西南北の四方から守る「四天王」。右手前から時計回りに、持国天(東)・増長天(南)・広目天(西)・多聞天(北)と並んでいます。お寺の本堂と本尊は真南を向いているので、四天王像を本来の位置に祀ると、正面から本尊を拝みづらくなるため、須弥壇の四隅に祀られています。

【須弥壇】＝仏堂に設けられた、本尊などの仏像を安置する台座。

広目天	北	多聞天
西	本尊	東
増長天	南	持国天

おすすめ！体験スポット

奈良国立博物館「なら仏像館」

日本で２番目に古い歴史ある国立博物館。毎年秋に開かれる「正倉院展」には、全国からたくさんの人たちが訪れます。仏像や仏画など、仏教美術の名品を多数収蔵しており、「なら仏像館」では100体近くの仏像といつでも会うことができます。地下回廊には、楽しい学習コーナーやミュージアムショップも。博物館のオリジナルグッズや歴史・仏像に関する書籍など充実した品揃えです。

●(地図)47頁・C2 ／主な学習施設(40頁参照)
主な体験プログラム一覧(41・42頁 D01)

薬師如来坐像〈国宝〉奈良国立博物館蔵
写真：奈良国立博物館

奈良国立博物館「なら仏像館」外観(上) 地下回廊の「学習コーナー」(下左)とミュージアムショップ(下右)　写真：奈良国立博物館

多聞天立像(重文) 奈良国立博物館蔵
写真：奈良国立博物館

平城京エリア
（奈良市中心部）

〈学びの旅のテーマ〉
中央集権の国家体制が整い、国際交流も盛んに。
奈良時代の最先端の都「平城京」へ！

大仏さまの力で国を守り、
すべての生きものが
栄えますように。

人々の苦しみがなくなり、
皆が豊かで
幸せに暮らせますように。

注）人物イラストについては、イメージで表現しており、学術的な正確さを追求するものではありません。

国家の繁栄と平和を願って、大仏さまを造立。

奈良時代は、政治的な争いや干ばつ・飢饉、地震、天然痘の流行など、苦しい時代でした。聖武天皇は、各地に国分寺・国分尼寺を建てる勅命を出し、仏教を柱に、人々が思いやりの心でつながり、動物も植物も共に栄えることを願って、「世界を照らし、光輝く仏さま」である大仏さまを造りました。また、建築や河川の整備、福祉、医療など、人々が安心して暮らせるような政治を行いました。

【勅命】＝天皇の命令

国民の「しあわせ」を願って、福祉事業を推進。

光明皇后は、平城京の造営に力を尽くした藤原不比等の娘で、皇族以外の女性で初めて皇后になりました。夫の聖武天皇とともに仏教を深く信仰し、貧しい人たちや孤児たちを救うための「悲田院」や、ケガや病気で苦しむ人たちを保護・治療し、各地から献上させた薬草を無料で与える「施薬院」を設置するなど、福祉事業に力を入れました。また、皇后自ら病人の看護を行ったとも伝えられています。

主な学習スポットとモデルコース

<···· 徒歩　←── 電車　⇐── バス

〈コース①〉奈良のシンボル・大仏さまのお膝元、奈良公園周辺をめぐる。

●所要時間＝約7時間／（地図）47頁参照

近鉄奈良駅　またはＪＲ奈良駅から市内循環バス「県庁前」下車すぐ

<···· 約5分

【世界遺産】興福寺
●見学時間＝約50分
阿修羅像でおなじみ。藤原不比等が建てたお寺。

写真：飛鳥園

<···· 約5分

奈良国立博物館
●見学時間＝約50分
毎年秋に開かれる「正倉院展」でも知られる博物館。

「なら仏像館」

<···· 約10分

【世界遺産】東大寺
●見学時間＝約1時間20分
奈良の大仏さまがご本尊。聖武天皇が建てたお寺。

写真：飛鳥園

<···· 約15分

【世界遺産】春日大社
●見学時間＝約40分
全国の春日神社の総本社。平城京を守るために創建。

写真：桑原英文（提供：春日大社）

<···· 約10分

新薬師寺
●見学時間＝約30分
十二神将像で有名。光明皇后が建てたお寺。

写真：飛鳥園

<···· 約10分

志賀直哉旧居
●見学時間＝約30分
文豪・志賀直哉自身の設計によるモダンな旧邸宅。

<···· 約15分

ならまち
【世界遺産】元興寺
●見学時間＝約1時間
江戸時代の古い町並。軒下の赤いお守りが印象的。

写真：奈良県ビジターズビューロー

<···· 約10分

近鉄奈良駅　または「田中町（ならまち南口）」から市内循環バスでＪＲ奈良駅へ

〈コース②〉東大寺の大仏さまと平城宮を体感。西大寺と、のどかな西ノ京のお寺をめぐる。

●所要時間＝約7時間／（地図）47頁参照

近鉄奈良駅

⇐── 約4分（市内循環バス「東大寺大仏殿・春日大社前」下車）

【世界遺産】東大寺（大仏殿）
●見学時間＝約30分

⇐── 約4分（「東大寺大仏殿・国立博物館」からバス）

近鉄奈良駅

←── 約5分

近鉄大和西大寺駅（南口）

<···· 約10分

【世界遺産】平城宮跡歴史公園
●見学時間＝約2時間
復原された第一次大極殿や朱雀門が美しい平城京の宮跡。朱雀門ひろばでは、復原模型や出土品展示、VRシアターで奈良時代の平城宮を体感。復原遣唐使船の乗船体験も。

写真：UPフォトス

<···· 約15分

西大寺
●見学時間＝約30分
西の大寺として栄えた、称徳天皇が建てたお寺。

写真：飛鳥園

<···· 約5分

近鉄大和西大寺駅（南口）

←── 約4分

近鉄西ノ京駅

<···· 約10分

【世界遺産】唐招提寺
●見学時間＝約1時間
奈良時代の名建築の宝庫。鑑真和上が開いたお寺。

写真：飛鳥園

<···· 約10分

【世界遺産】薬師寺
●見学時間＝約1時間
美しい「白鳳伽藍」。藤原京から遷されたお寺。

写真提供：奈良県ビジターズビューロー

<···· 約5分

がんこ一徹長屋
●見学時間＝約30分
一刀彫・筆・赤膚焼など、伝統産業の職人長屋。

<···· 約5分

近鉄西ノ京駅

観光タクシー利用でのモデルコース
早朝の奈良公園、平城宮を体感。西ノ京のお寺をめぐる。

●所要時間＝約7時間

奈良市内（駅・宿泊施設） ← **東大寺大仏殿** ← **春日大社** ← **飛火野**（奈良の風物詩「鹿寄せ」が行われる春日大社境内地） ← **浮見堂**（奈良公園・鷺池に浮かぶ美しい六角堂） ← **猿沢池**（興福寺五重塔が水面に映る美しい風景は「奈良八景」の一つ） ← **興福寺** ← **平城宮跡歴史公園** ← **唐招提寺** ← **薬師寺** ← **奈良市内（駅・宿泊施設）**

聖武天皇の願い、大仏造立と復興。そして、正倉院宝物のはじまり。

東大寺、正倉院

東大寺金堂(大仏殿)本尊・盧舎那仏坐像〈国宝〉　写真:©井上博道 / DNPartcom

東大寺金堂(大仏殿)〈国宝〉　写真:奈良県ビジターズビューロー

度重なる戦火に遭いながらも何度も復興された大仏さま。

平安時代末期(1180)、平重衡の焼き討ちによって大仏殿をはじめ東大寺の建物の大半を失いましたが、鎌倉時代に源頼朝の協力で重源上人が復興。戦国時代(1567)には、戦乱で大仏殿を焼失し、100年以上もの間、大仏さまは雨ざらしになりましたが、江戸時代に公慶上人の働きで大仏さまを復興し、大仏殿を再建しました。大仏さまは、二度焼かれて二度復興し、今があるのです。

重源上人坐像〈国宝〉東大寺蔵
写真:奈良国立博物館
(撮影:佐々木香輔)

国と国民が力を合わせて造られた東大寺の大仏さま。

大仏さまのご本名は、「盧舎那仏」。高さ約15メートルもある大仏さまがおられる大仏殿は、木造では世界最大級の建物です。大仏さまを造るにあたって、聖武天皇は「一枝の草、ひとにぎりの土」を持ってでもよい、皆で協力してほしいと広く国民に呼びかけ、延べ260万人もの人々が参加し、約8年の歳月をかけて完成。752年に「大仏開眼供養会」が盛大に行われました。皇室・政府の事業のみならず、国民と力を合わせて造られたのが大仏さまです。

●東大寺大仏殿(地図)47頁・C2

聖武天皇を失った悲しみから生まれた「正倉院宝物」。

756年、聖武天皇が崩御。悲しみに打ちひしがれていた光明皇后が、四十九日の法要の後、天皇ご遺愛の品などを東大寺の大仏さまに納めたのが「正倉院宝物」のはじまりです。現在、約9000点を数える宝物の約1割は大陸伝来、約9割の品が国産といわれています。毎年秋に開かれる「正倉院展」に訪れる人たちは、1300年間守られてきた宝物に魅了されます。

●正倉院正倉(地図)47頁・C2

上:螺鈿紫檀五絃琵琶
右:八角鏡 平螺鈿花鳥背(第7号)
写真:宮内庁正倉院事務所

現地で学ぼう!感じよう!

◎大仏さまは、なぜそんなにも大きいの?坐っておられる台座の蓮弁にも注目。

東大寺・盧舎那仏坐像〈国宝〉台座蓮弁部分　写真:©井上博道 / DNPartcom

仏教の経典『華厳経』の教えに、「お釈迦さまの身長を10倍することで、無限大の宇宙を表現する」と説かれています。大仏さまが坐っておられる台座と膝頭の部分は奈良時代のもの。台座の蓮弁と大仏さまとで宇宙そのものを表しています。蓮弁一枚一枚には、お釈迦さまと、たくさんの菩薩の姿が、細い線彫りで描かれています。東大寺ミュージアムに、蓮弁の複製が展示されているので、間近で見てみよう。

●東大寺ミュージアム(地図)47頁・C2／菩薩(19頁・仏像入門参照)

◎建立の時代が違う二つのお堂からなる東大寺最古の建物、法華堂におられるのは?

法華堂本尊・不空羂索観音菩薩立像〈国宝〉　写真:飛鳥園

728年、聖武天皇と光明皇后に皇太子が生まれましたが、1歳の誕生日を迎えずに亡くなってしまいます。その冥福を祈るために建立されたのが東大寺の前身の金鍾寺。東大寺最古の建物である法華堂は、金鍾寺の仏堂の一つと考えられています。奈良時代の正堂と鎌倉時代の礼堂が一つに結ばれた美しい建築で、ご本尊の不空羂索観音菩薩は、手に持つ羂索で悩める人々すべてを救ってくださる仏さまです。

●東大寺法華堂(三月堂)(地図)47頁・C3
【羂索】＝鳥獣を捕らえる縄。もれなく衆生を救う仏の象徴。

◎賑わう商店街は、大陸から伝わった文物を運んだであろう平城京三条大路。

春日大社「一之鳥居」　写真:春日大社

古代ローマと中国を結んだ交易路・シルクロードは、さらに海を渡って日本へ。遣唐使の働きで大陸から伝えられた文物は、当時の難波宮から平城京に運ばれました。春日大社「一之鳥居」から、ほぼ真っすぐ西に延びる道を歩いてみよう。東に御蓋山、西は大阪との境にある生駒山へと続いています。今は商店街として賑わう三条通りが、平城京三条大路の名残です。

●春日大社「一之鳥居」(地図)47頁・D2
春日大社・御蓋山(25頁参照)(地図)47頁・D3
三条通り(地図)47頁・D1／三条大路(29頁・平城京条坊図参照)

おすすめ!体験スポット

東大寺ミュージアム

奈良時代から江戸時代にかけての「東大寺の歴史と美術」が学べるミュージアム。法華堂の日光・月光菩薩立像〈国宝〉や戒壇堂の四天王立像〈国宝〉。聖武天皇直筆の勅額「金光明四天王護国之寺」(重文)や誕生釈迦仏立像および灌仏盤〈国宝〉など。東大寺に伝わる名宝の数々を堪能。ショップでは、人気のクリアファイルや仏像フィギュアなども。

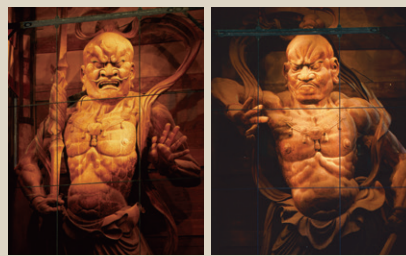
●(地図)47頁・C2／主な学習施設一覧(40頁参照)

東大寺ミュージアム外観　写真:東大寺

もっと知るなら!

仁王さまは、なぜ「開けた口」「閉じた口」とで一対なの?

口を開けた「阿形(息を吐く姿)」と口を閉じた「吽形(息を吸う姿)」とで"阿吽の呼吸"。古代インドの12の母音の初めが「阿」、終わりが「吽」であることから、密教では"万物の初めと終わり"の象徴に。神社の狛犬の口も見てみよう。

●東大寺南大門(地図)47頁・C2

東大寺南大門・金剛力士立像〈国宝〉(左が「阿形」、右が「吽形」)
写真:UPフォトス

東大寺鐘楼と大鐘〈ともに国宝〉　写真:UPフォトス

「奈良太郎」って、いったい誰の名前?

「奈良太郎」は、東大寺の大鐘(梵鐘)の愛称。重さ:26.3t/直径:2.71m/高さ:3.86m。神護寺(京都市)/平等院(京都府宇治市)/三井寺(滋賀県大津市)の梵鐘と並ぶ日本の名鐘の一つに。現在も、現役で活躍中。

●東大寺鐘楼(地図)47頁・C3

「絵馬」って、どうして「馬」なの?

古代から、神に「生きた馬」を奉納する風習があったが、それが「木馬」などに代わり、その後、絵に描いた「絵馬」に。東大寺境内にある手向山八幡宮には、絵馬の古い形を伝える「立絵馬」があるので、ぜひお土産に。　●手向山八幡宮(地図)47頁・C3

手向山八幡宮「立絵馬」 写真:UPフォトス

都を守り、国の繁栄を願って。藤原氏ゆかりの春日大社と興福寺。

春日大社、興福寺

国家の繁栄と平和を願って。御蓋山麓に創建された春日大社。

古くから神聖な場所であった御蓋山。遠く鹿島（茨城県）から神さまが白鹿に乗って山頂に降り立ったと伝わり、聖武天皇の娘・称徳天皇の時代に社殿を建て、春日大社が創建されました。ご祭神は藤原氏の氏神で、全国にある春日神社の総本社。平安時代の終わり頃から奉納された石燈籠・釣燈籠は約3000基、日本一燈籠が多い神社として知られています。2016年秋、20年に一度の「御造替」で、美しくよみがえった朱塗りの社殿は、目に眩しく色鮮やかです。

●春日大社・御蓋山（地図）47頁・D3／聖武天皇（23頁参照）

御蓋山と群れ集う鹿（奥に春日山）　写真：UPフォトス

春日大社中門　写真：桑原英文（提供：春日大社）

藤原鎌足の子・不比等の建立。被災と復興を繰り返した興福寺。

京都・山科の地に起源をもつ藤原氏ゆかりの興福寺は、藤原不比等によって平城京に遷され、大いに栄えました。その後、何度も被災しましたが、その度に、藤原氏や朝廷の力で復興され、阿修羅像をはじめとする貴重な寺宝が守られてきました。そして、2018年秋、藤原不比等創建の中金堂が、創建当初の大きさで再建されました。

●興福寺（地図）47頁・C1・C2／藤原（中臣）鎌足（09頁参照）

【朝廷】＝天皇が政治を行う政府の機関。

再建された興福寺中金堂　写真：飛鳥園

華麗なる一族・藤原氏。平城京造営に尽力した藤原不比等。

藤原不比等は、藤原京時代、持統・文武・元明天皇三代に仕えました。平城遷都では主導的役割を果たし、その権力は、孫にある聖武天皇に、娘の安宿媛（後の光明皇后）を嫁がせるまでになりました。平城京に氏寺・興福寺を建立し、一族と国家の繁栄を願いました。不比等の一周忌に建てられた北円堂あたりからは平城京を見渡すことができたといわれています。

●興福寺北円堂（地図）47頁・C1
藤原京（11・12頁参照）／平城京（29・30頁参照）

北円堂本尊（秘仏）・弥勒如来坐像〈国宝〉　興福寺北円堂〈国宝〉　写真：飛鳥園

現地で学ぼう！感じよう！

◎なぜ、奈良公園の鹿は大切に守られてきたのか。その保護活動とは？

奈良公園の親子鹿　写真：奈良県ビジターズビューロー

鹿島の神さまが白鹿に乗って春日の地に来られたという伝説から、「神鹿」として守られてきた鹿。奈良公園には、約1200頭余（2020年7月調査）の野生鹿が生息しています。ケガや病気、妊娠しているメス鹿などを保護する施設「鹿苑」や、周辺の道路には鹿の交通事故を防ぐための標識・看板も。「鹿苑」の見学や鹿の生態学習などの体験を通して、人と鹿の共存を目的とした、鹿の保護活動を学んでみよう。

●春日大社「鹿苑」（地図）47頁・D3
主な体験プログラム一覧 41・42頁D02／43・44頁F02

◎鎌倉時代に活躍した、奈良仏師・慶派一門による仏像彫刻の魅力。

興福寺国宝館・金剛力士立像（吽形）〈国宝〉　写真：飛鳥園

鎌倉時代、興福寺や東大寺の復興で活躍した康慶・運慶・快慶・湛慶をはじめとする慶派仏師たち。「天平回帰」をテーマに、奈良時代の仏像に学びながらも躍動的で写実的な新しい仏像彫刻が造られました。興福寺国宝館で、筋肉や血管が浮き出した金剛力士像やユーモラスで愛嬌のある天燈鬼・龍燈鬼像など、鎌倉彫刻ならではの寺宝を拝観しよう。

●興福寺国宝館（地図）47頁・C1／鎌倉時代の仏像（19頁・仏像入門参照）

◎度重なる戦火に遭いながらも遺されてきた、奈良時代の至宝とは？

興福寺国宝館・八部衆立像〈国宝〉阿修羅像　写真：飛鳥園

奈良時代に「脱活乾漆造」と呼ばれる仏像の造り方が流行しました。木組に土であらかた造形し、その上に麻布を貼って木粉を混ぜた漆で塗り固めていく作業を繰り返し、乾燥後に中の土を取り除きます。中が空洞で軽かったため、火災の度に外に運び出して助けたともいわれています。興福寺国宝館で、阿修羅像をはじめとする八部衆立像や十大弟子立像など、奈良時代に造られた脱活乾漆像を拝観しよう。

●興福寺国宝館（地図）47頁・C1／脱活乾漆像（19頁・仏像入門参照）

もっと知るなら！

春日大社の名物燈籠。一晩で数えきったら幸せに？

日本一燈籠の数が多い春日大社。「一晩で間違わずに数えきったら長者に」「春日大明神と彫られた燈籠を3基見つけたら大金持ちに」などの言い伝えも。鹿の寝姿が彫られた可愛い石燈籠もあるので探してみよう。

●春日大社（地図）47頁・D3

春日大社「春日大明神」燈籠、「寝鹿」燈籠　写真：飛鳥園

興福寺国宝館「仏頭」〈国宝〉 写真：飛鳥園

興福寺国宝館の「仏頭」。故郷は飛鳥の山田寺。

白鳳期の典型的な様式で知られる「仏頭」は、1937年、東金堂修理中に現・本尊台座から発見された。平安時代末期の戦火で失われた東金堂再建の際に、飛鳥（現・桜井市）の山田寺から本尊として迎えられ、その後の火災で頭部だけが遺された。

●興福寺国宝館・東金堂（地図）47頁・C1
白鳳期の様式（18頁／19頁・仏像入門参照）

3つの顔と6本の腕をもつ阿修羅像。なぜ、少年を思わせる顔なの？

阿修羅は仏法の守護神で、八部衆の一人。3つの顔と6本の腕をもち、高く掲げた2本の手に太陽と月が乗っていた。3つの顔の表情の違いにも注目してみよう。少年を思わせる阿修羅像には、制作を依頼した光明皇后の亡き皇子への追慕が込められたのかもしれない。

●興福寺国宝館（地図）47頁・C1

おすすめ！体験スポット

春日大社国宝殿

別名「平安の正倉院」。平安時代を中心とした雅やかな美術工芸品や甲冑・刀剣など、武具の名品を鑑賞。「舞楽」で用いられる日本最大の鼉太鼓の展示も。●（地図）47頁・D3

春日大社国宝殿・日本最大級の鼉太鼓　写真：春日大社

興福寺国宝館

旧食堂の本尊・千手観音菩薩立像を中心に、阿修羅像をはじめとする興福寺の寺宝が一堂に。旧東金堂本尊・薬師如来像の台座に貼られていたと考えられている板彫十二神将立像など珍しい国宝も。●（地図）47頁・C1

興福寺国宝館 天燈鬼像〈国宝〉 写真：飛鳥園

元興寺と古い町並、「ならまち」。こころ休まる閑静な佇まい、高畑。

元興寺、ならまち、新薬師寺、志賀直哉旧居

飛鳥の地から遷された元興寺と、伝統産業が息づく「ならまち」。

元興寺は、飛鳥の地に創建された法興寺（飛鳥寺）が前身。平城遷都とともに遷され、南都七大寺の一つとして栄えました。世界遺産・元興寺は、奈良時代の僧房の一部で、本堂（極楽堂）・禅室の屋根の一部には、飛鳥時代に百済の技術者によって作られた法興寺の屋根瓦も。元興寺周辺の「ならまち」は、奈良墨・奈良筆・奈良晒など、奈良の伝統産業が息づく古い町並。町屋の軒下に赤い魔除けのお守り「身代り申」が吊られている風景は、独特な味わいです。

●元興寺・ならまち（地図）47頁・D1
法興寺（飛鳥寺）（07・08頁参照）／平城京（29・30頁参照）

元興寺本堂（極楽堂）および禅室〈ともに国宝〉　写真：奈良県ビジターズビューロー

大きな目をしたお薬師さまと、今にも動き出しそうな神将たち。

奈良時代、聖武天皇の病気快復を願って光明皇后が建立した新薬師寺。本堂は創建当初の建物で、創建時には100人の僧侶が祈りを捧げたといわれるほどの大寺でした。本尊は、薬壺を持ち、大きく目を見開いた薬師如来坐像で、東方の浄土「浄瑠璃世界」を司る薬師如来を中心に、周囲に睨みを利かせた武将たちが、十二神将像です。

●新薬師寺（地図）47頁・D3
薬師如来像・薬壺（19頁・仏像入門参照）

新薬師寺本尊・薬師如来坐像〈国宝〉
写真：飛鳥園

日本の良さを奈良に見出した、文豪・志賀直哉と、その仲間たち。

昭和時代の初め頃、開国以来の急速な西洋化によって、日本人が独自の文化の良さを忘れ、次第に心の拠り所を失いかけていることを憂い、文人・芸術家たちを中心に、日本古来の文化を見つめ直そうとする人たちが現れました。奈良の古い文化財と自然を愛した志賀直哉は、奈良・高畑に自ら設計した住居に家族と移り住み、志賀を慕う仲間たちとともにサロンを形成しました。

●高畑界隈・志賀直哉旧居（地図）47頁・D3

神職が暮らす社家町としても知られた
奈良・高畑界隈　写真：UPフォトス

ならまち界隈（町屋の軒下に吊るされたお守り「身代り申」）　写真：奈良県ビジターズビューロー

現地で学ぼう！感じよう！

◎ならまちの伝統的な町屋。軒下に吊られている「身代り申」とは？

奈良市ならまち格子の家「みせの間（客間）」　写真：UPフォトス

ならまちの伝統的な町屋を再現した「奈良市ならまち格子の家」で、昔の暮らしの知恵を学んでみよう。間口が狭く、奥行が深いのが特徴です。また、「庚申の日に徹夜して眠らず、身を慎めば長生きできる」という信仰から庚申さん（青面金剛像）を祀る庚申堂へも。災いから身を守る「身代り申」が、たくさん吊られ、屋根には、「見ざる・聞かざる・言わざる」の知恵で災いを避ける、青面金剛神の使い猿「三猿」も。

●奈良市ならまち格子の家・庚申堂（地図）47頁・D1

◎円陣を組んで薬師如来を守る、奈良時代に造られた十二神将像。

新薬師寺・十二神将立像〈国宝〉（伐折羅大将像）　写真：飛鳥園

新薬師寺本堂を拝観してみよう。本尊・薬師如来の周囲を守っているのが、奈良時代に造られた塑像（一体は後補）の十二神将像です。薬師如来と信者を守るため、仏の教えを害する敵に立ち向かう姿を表しています。伐折羅大将像の口からは大きな怒号が響き渡るようで、腰の剣は今にも抜き放たれそうです。また、十二の方位を守ることから干支（十二支）の守護神にも。自分の干支の神将も探してみよう。

●新薬師寺（地図）47頁・D3／塑像（19頁・仏像入門参照）
【後補】＝後の時代に補修されたもの。

◎文芸・芸術談議に華咲いたサロン。志賀直哉自身が設計した旧邸宅。

志賀直哉旧居（1階：天窓を設えたサンルーム）　写真：UPフォトス

小説家・武者小路実篤や評論家・小林秀雄、画家・梅原龍三郎ら、昭和の文人・芸術家たちが訪れた旧志賀直哉邸の設計は志賀自身によるもので、平屋造りの一階には、モダンで明るいサンルームも。大作『暗夜行路』を仕上げた書斎と客間のある二階にも上がってみよう。窓からの御蓋山、若草山の眺めは素晴らしく、奈良の自然を愛した志賀直哉ならではの芸術性を味わうことができます。

●志賀直哉旧居・御蓋山（地図）47頁頁・D3

もっと知るなら！

3つに分かれてしまった元興寺？世界遺産・元興寺の本尊は『曼荼羅』。

度重なる火災などで主な伽藍を失った元興寺には、極楽坊境内（世界遺産・元興寺）・小塔院跡・塔跡の3つに分かれた歴史も。また、元興寺は、浄土三曼荼羅の一つ『智光曼荼羅』がご本尊。奈良時代の学僧・智光が夢に見た浄土図を描かせたものと伝わる。　●元興寺（地図）47頁・D1

福智院本尊・地蔵菩薩坐像（重文）　写真：飛鳥園

「地蔵大仏」の愛称で親しまれる、お地蔵さまがご本尊の福智院。

福智院は、奈良時代に聖武天皇の願いで僧・玄昉が創建した清水寺が前身。鎌倉時代に西大寺の興正菩薩・叡尊上人によって復興された。本尊の地蔵菩薩坐像（重文）は、坐った地蔵菩薩では日本一の大きさ。

●福智院（地図）47頁・D2 ／叡尊上人（31・32頁参照）

「ならまち格子」は、なぜ、太くて丸みを帯びているの？

毎年10月、春日大社「鹿苑」で行われる伝統行事「鹿の角切り」。江戸時代には、ならまちの袋小路などで行われていた。追い込んだ鹿を傷つけないように、また暴れる鹿から家屋を守るために、ならまちの町屋は八角形や丸みを帯びた太い格子を設えた。　●春日大社「鹿苑」（地図）47頁・D3

春日大社の伝統行事「鹿の角切り」　写真：UPフォトス

おすすめ！体験スポット

「にぎり墨体験」

全国シェア90%を占める奈良の伝統産業の「奈良墨」。墨の歴史や材料についての解説とともに、生の墨の香りや温もりを感じながら、自分の手の型・指紋が付いたオリジナルの「にぎり墨」作りを体験しよう。お土産に、そのまま持ち帰ることも。　●主な体験プログラム一覧（43・44頁 F01）

「にぎり墨体験」　取材協力：錦光園　写真：錦光園（下）

咲く花の薫ふがごとく栄えた、奈良時代の最先端の都「平城京」。

〈平城宮跡歴史公園〉朱雀門ひろば、第一次大極殿など

平城宮跡・第一次大極殿　写真：UPフォトス

万葉歌に詠まれた華やかさ。国際交流都市「平城京」の誕生。

「あをによし　寧楽の京師は　咲く花の薫ふがごとく　今盛りなり」と万葉歌に詠まれた平城京。710年、藤原京から遷都されました。東西約5・9km、南北約4・8km、中央最北端の平城宮は約1km四方の広さ。宮の正門・朱雀門から都の南端・羅城門まで、道幅が約74mと、まるで国際空港の滑走路のような朱雀大路が縦断していました。全国から物産や人が集まり、外国から使節団を迎えるなど、約70年間、日本の政治・経済・文化の中心として栄えました。

●平城宮跡（地図）47頁・A1／藤原京（11・12頁参照）

設計のお手本は、中国・唐。奈良時代の最先端の都「平城京」。

平城京は、中国・唐の都、長安を手本に造営されました。平城宮の大極殿（中国では太極殿）に出座する天皇は、太一（北極星）に象徴され、太一を背に南を向いて国を治めました。「条坊制」と呼ばれる碁盤の目のような区画に整備され、大極殿から見て左側の左京、東に張り出した外京と、右側の右京（西ノ京）にお寺を建立して都を守り、国家の繁栄と平和を願いました。

●第一次大極殿（地図）47頁・A1

平城宮跡・朱雀門　写真：UPフォトス

平城京条坊図

協力：奈良文化財研究所

奈良時代の宮廷の庭、特別名勝「平城宮東院庭園」。

平城宮東張り出し部の東南隅にある特別名勝「平城宮東院庭園」は、聖武天皇の娘・称徳天皇の時代の「東院」や光仁天皇の時代の「楊梅宮」の庭園跡です。複雑な曲線の池が設けられ海の景色を再現し、周囲には池に張り出す美しい建物や楼閣、橋、石組や植栽が配された当時の様子が復原されています。なお、築山の石組は当時のものです。自然の景色を主題とした日本庭園の原型にもなりました。

●東院庭園（地図）47頁・A2

平城宮跡・東院庭園
写真：奈良県ビジターズビューロー

現地で学ぼう！感じよう！

◎平城の地に遷都された理由は？大陸の最新情報を伝えた遣唐使船とは？

「天平うまし館」復原遣唐使船　写真：平城宮跡歴史公園

平城の地が自然環境に恵まれた素晴らしいところだったというのが最も有力な説です。また、藤原京から離れた場所に遷都することで豪族と本拠地とを切り離そうとした藤原不比等の狙いもありました。702年に派遣された遣唐使が入手した唐の都・長安の最新情報を基に造営され、元明天皇の時代に遷都しました。朱雀門ひろば「天平うまし館」で遣唐使の歴史を学び、復原遣唐使船に乗船体験してみよう。

●朱雀門ひろば（地図）47頁・A1
藤原京（11・12頁参照）／藤原不比等（25頁参照）

◎平城宮には、どんな役所の建物が？天皇が出座した大極殿、玉座とは？

第一次大極殿・天皇の玉座「高御座」　写真：奈良文化財研究所

大極殿は、天皇即位や新年挨拶などの国家的儀式が行われた建物。内裏は天皇の住まい。朝堂院は役人の儀式・宴会の場所。人事院にあたる式部省や防衛省にあたる兵部省など、平城宮には様々な役所がありました。平城宮跡資料館に、当時の役所・宮殿内部の様子が再現されているので体感してみよう。大極殿には天皇の玉座・高御座の展示も。平城宮跡を見渡せる大極殿で天皇の気分を味わってみよう。

●第一次大極殿・平城宮跡資料館（地図）47頁・A1
主な学習施設一覧（40頁参照）

◎天皇・貴族の暮らしを支えた財源とは？平城京の貴族の食事メニューは？

平城宮の天皇の食事（料理復元：奥村彪生）　写真：奈良文化財研究所

平城京の人口は、約5～10万人。平城宮に勤めていた貴族・役人の数は、約7千人ほど。貴族は、数千坪の邸に住んでいました。平城宮跡資料館で、当時の天皇・貴族の暮らしを見てみよう。食事は、白米を主食に、鮑・鯛などの海産物や鹿・猪の肉など、全国から運ばれた海の幸・山の幸を食べていました。これらは、絹・麻の織物などと共に税として納められた品々。税が、天皇・貴族の豊かな暮らしを支えていました。

●平城宮跡資料館（地図）47頁・A1／主な学習施設一覧（40頁参照）

もっと知るなら！

なぜ、「平城」の地が素晴らしい？都造営の土地を選んだ基準。

薬師寺金堂本尊・薬師三尊像〈国宝〉台座部分
（右上から時計回りに東面・南面・西面・北面に彫刻された「四神」）
写真：飛鳥園

平城京は、古代中国の思想に即した土地を選んで造営された。平城遷都の詔（天皇が仰せになることば）に「四禽、図に叶ひ、三山、鎮めを作す、亀筮ならびに従ふ。都邑を建つべし」とあり、平城の地は「四神（四禽）」が象徴する、東に青龍（河川）、南に朱雀（湖沼）、西に白虎（大道）、北に玄武（丘陵）があり、東に御蓋山、西に生駒山、北に奈良山の「三山」に囲まれた絶好の土地だった。また、奈良山を越えれば木津川（京都府）にも通じ、平城京造営時には、木津の港に木材等の資材が陸揚げされたと伝わる。

●「四神」（12頁参照）／薬師寺・薬師三尊像（32頁参照）

第一次大極殿と第二次大極殿跡。なぜ、大極殿が2つあるの？

第一次大極殿は、710年、元明天皇による平城遷都当初の大極殿。その後、740年に聖武天皇が恭仁京（京都府）へ一時的に遷都し、平城京の大極殿を恭仁京に移築した。そして、745年に再び平城京に戻った時、新たに建てられた大極殿の跡が、第二次大極殿跡。

●第一次大極殿・第二次大極殿跡（地図）47頁・A1

平城宮跡・第二次大極殿跡の基壇　写真：矢野建彦

おすすめ！体験スポット

「朱雀門ひろば」

平城宮跡歴史公園の玄関口「朱雀門ひろば」。「平城宮いざない館」では、復原模型や大型映像、出土品展示などで奈良時代の平城宮を体感。「天平みはらし館」では、平城宮跡を眺望できる展望デッキや大迫力のVRシアターなど。「天平うまし館」では、遣唐使の歴史解説コーナーを経て、復原遣唐使船の乗船体験も。

●（地図）47頁・A1／主な学習施設一覧（40頁参照）

「平城宮いざない館」館内展示風景　写真：平城宮跡歴史公園

「第一次大極殿」

復原された大極殿は、国家的儀式が行われた、宮殿の中でも一番重要な建物。即位の儀式や元日の朝賀の時に置かれた天皇の玉座「高御座」の展示や平城京の設計に関するパネル解説なども。　●（地図）47頁・A1

美しい白鳳伽藍と天平建築。心癒される仏、和みの伝統行事。

〈西ノ京〉薬師寺、唐招提寺／西大寺

薬師寺遠望　写真：UPフォトス

飛鳥時代後期の建築様式。信仰の力で甦った「白鳳伽藍」。

薬師寺は、天武天皇が皇后・鸕野讃良皇女（後の持統天皇）の病気快復を願って藤原京に建立され、平城遷都で西ノ京の地に遷されました。屋根の大小のリズムが美しい東塔は、三層の大屋根の下に裳階（小さな飾り屋根）を設えた三重塔。飛鳥時代後期（白鳳期）の様式を伝える貴重な木造建築です。お写経の納経料によって復興された金堂・大講堂・西塔とともに、「龍宮造り」と呼ばれる「白鳳伽藍」が甦りました。

●薬師寺（地図）47頁・B1／薬師寺式伽藍配置図（16頁参照）
藤原京・本薬師寺跡（11頁参照）

薬師寺・東塔を望む　写真：田中美紀

日本に受戒制度を伝えるために。苦難の末、来日した鑑真和上。

正式な僧となるための「受戒」という制度がなかった奈良時代、聖武天皇は、唐から「受戒」の折の師となれる高僧を招こうと、興福寺の僧・栄叡と普照を派遣しました。高僧・鑑真に出会えた二人は熱心に説得。渡航を決意した鑑真は、多くの弟子たちと苦難の末に来日しました。そして、東大寺大仏殿の前に戒壇を築き、聖武天皇をはじめ400人余に戒を授けました。

●興福寺（地図）47頁・C1・C2
東大寺大仏殿（地図）47頁・C2／唐招提寺（地図）47頁・B1

唐招提寺・御影堂 鑑真和上坐像〈国宝〉　写真：飛鳥園
※鑑真大和上坐像特別公開 例年6月5日〜7日

直径40cmの大茶碗にびっくり。叡尊上人ゆかりの行事「大茶盛」。

聖武天皇の娘・称徳天皇が、恵美押勝（藤原仲麻呂）の乱を鎮めたいと四天王に祈願し、鎮圧後に銅造の四天王像を祀ったのが西大寺のはじまりです。西の大寺として栄えましたが、平安時代に一時衰退、鎌倉時代に叡尊上人が再興しました。直径40cmもある大きな茶碗に点てたお茶を回し飲む「大茶盛」は、皆で仲良く協力し合うという精神が込められた叡尊ゆかりの伝統行事です。

●西大寺（地図）47頁・A1

西大寺・本堂（重文）と東塔跡（奈良時代創建当初の東塔基壇）
写真：飛鳥園

現地で学ぼう！感じよう！

◎大正・昭和時代の文人・芸術家らを魅了した、薬師寺の仏像の魅力とは？

薬師寺・薬師三尊像〈国宝〉（薬師如来坐像）　写真：飛鳥園

飛鳥時代（白鳳期）の様式を今に伝える金堂本尊・薬師三尊像や東院堂本尊・聖観音菩薩像の魅力を探ってみよう。『古寺巡礼』を著わした哲学者・和辻哲郎をはじめ、大正・昭和時代の文人・芸術家たちが心惹かれた仏像です。金堂本尊の台座には、遠くギリシアやペルシアから伝わった文様や十二神将のルーツともいわれるインドの「力神」、四方の守護神「四神」の彫刻なども。（東僧坊に台座の複製を展示）

●薬師寺（地図）47頁・B1／金堂本尊・薬師三尊像（20頁・仏像入門参照）
金堂本尊台座の「四神」（30頁参照）／「四神」（12頁参照）

◎奈良時代、皇族・貴族の寄進によって整えられた唐招提寺の名建築とは？

唐招提寺・金堂〈国宝〉　写真：奈良県ビジターズビューロー

鑑真和上は、来日から5年後に西ノ京に移り、戒律を学び実践するために唐招提寺を開きました。鑑真を慕う皇族・貴族の寄進によって整えられた、奈良時代の貴重な建物を見学してみよう。新田部親王旧宅の蔵を改造した経蔵は、日本最古の校倉造り。平城宮の東朝集殿を移築した講堂では、晩年の鑑真が講義を行ったことでしょう。井上靖の小説『天平の甍』で知られる、金堂の列柱にも触れてみよう。

●唐招提寺（地図）47頁B1／平城宮跡（29・30頁参照）（地図）47頁・A1

◎鎌倉彫刻の傑作、叡尊上人を写した肖像と愛染堂本尊・愛染明王。

西大寺・興正菩薩寿像〈国宝〉　写真：飛鳥園

鎌倉時代に西大寺を再興した叡尊上人は、「興法利生（正しい仏教を盛んにして、皆を幸せにする）」に生涯を捧げました。叡尊上人の肖像を祀る愛染堂を拝観してみよう。興正菩薩寿像は、叡尊80歳の姿を写実的に表現した鎌倉彫刻の傑作です。愛染堂の本尊（秘仏）・愛染明王坐像は密教の仏さまで、仏法に従わない人たちを戒め、欲望に執着するエネルギーを正しい方向へと導いてくださる仏さまです。

●西大寺（地図）47頁・A1／愛染明王坐像（20頁・仏像入門参照）

もっと知るなら！

天女が舞う、澄んだ秋の空。會津八一が詠んだ薬師寺。

薬師寺境内には、秋の空に映える東塔を詠んだ、歌人・會津八一の歌碑が。「すいゑんの あまつをとめが ころもでの ひまにもすめる あきのそらかな」。東塔先端の水煙に舞う天女たちの衣袖の隙間から覗き見える、澄んだ秋の空の気持ち良さを詠んだ歌。

●薬師寺（地図）47頁・B1

薬師寺・東塔〈国宝〉の「水煙」
写真：薬師寺

いつでも鑑真さんに会える。唐招提寺・開山堂の御身代り像。

日本最高の肖像彫刻といわれる御影堂の鑑真和上坐像は、一年の内、数日しか拝観できませんが、いつでも鑑真さんに会えるようにと、奈良時代と同じ造り方で忠実に再現された御身代り像が開山堂に。その下には、松尾芭蕉が鑑真を拝して詠んだ「若葉して御めの雫 ぬぐはゞや」の句碑も。

●唐招提寺（地図）47頁・B1

西大寺「大茶盛」の大茶碗は、奈良の伝統工芸「赤膚焼」。

安土桃山時代、豊臣秀長が窯を開いたのがはじまりとされる赤膚焼は、「大茶盛」の大茶碗にも使われている。乳白色の優しい風合いと可愛らしい奈良絵文様が魅力。絵付（染付）体験ができる窯元もあるので、ぜひお土産に。

●西大寺（地図）47頁・A1／主な体験プログラム一覧（43・44頁 E01〜04・E06）

おすすめ！体験スポット

薬師寺・玄奘三蔵院伽藍「大唐西域壁画殿」

『西遊記』でお馴染みの三蔵法師（玄奘三蔵）を祀る薬師寺・玄奘三蔵院伽藍。日本画の大家・平山郁夫画伯が約30年の歳月をかけて描いた『大唐西域壁画』を見学。インドの経典などを中国・唐に持ち帰った玄奘三蔵の旅を体感しよう。

●薬師寺（地図）47頁・B1

薬師寺・玄奘三蔵院伽藍「大唐西域壁画殿」
写真：飛鳥園

「大茶盛体験」

西大寺の伝統行事「大茶盛式」を体験。同じ大茶碗で点てた同じ味のお茶を周りの人に助けてもらいながら回し飲むことで和み合ってほしいという叡尊上人のこころを感じよう。

●西大寺（地図）47頁・A1
主な体験プログラム一覧（41・42頁 C03）

西大寺「大茶盛式」

登場人物が生きた時代年表（飛鳥時代から奈良時代まで）

日本の国の基礎づくりが始まった飛鳥から平城京までの時代を生きた主要な人物の関わりを見てみよう！

大陸の動き（中国）	大陸の動き（朝鮮半島）	主な出来事	時代
南北朝時代	加羅／新羅／高句麗／百済	552　百済の聖明王から仏像や経典が贈られる（元興寺縁起では538）	古墳時代（6世紀）
南北朝時代	新羅／高句麗／百済	587 蘇我馬子・聖徳太子（厩戸皇子）らが物部守屋を滅ぼす	古墳時代（6世紀）
隋	新羅／高句麗／百済	592 推古天皇即位 593 聖徳太子（厩戸皇子）が推古天皇の摂政となる	飛鳥時代 前期
隋	新羅／高句麗／百済	601 聖徳太子（厩戸皇子）が斑鳩宮を建立 603 冠位十二階制定　604 十七条の憲法制定 607 法隆寺（斑鳩寺）建立／小野妹子らを隋に派遣	飛鳥時代 前期（7世紀）
唐	新羅／高句麗／百済	622 聖徳太子（厩戸皇子）が亡くなる／妃・橘大郎女が天寿国曼荼羅繍帳を織らせる	飛鳥時代 前期
唐	新羅／高句麗／百済	630 第1回遣唐使派遣	飛鳥時代 前期
唐	新羅／高句麗／百済	642 皇極天皇即位 645 中大兄皇子・中臣鎌足らが蘇我入鹿を殺害／難波長柄豊碕宮に遷都　646 改新の詔（大化の改新）	飛鳥時代 前期
唐	新羅／高句麗／百済	655 皇極天皇が再び即位（斉明天皇）	飛鳥時代 前期
唐	新羅／高句麗	660 中大兄皇子が漏刻をつくる　663 白村江の戦いで大敗 667 近江大津宮に遷都　668 天智天皇（中大兄皇子）即位 669 中臣鎌足が藤原姓を賜う 鎌足亡くなる	飛鳥時代 後期（白鳳期）
唐	新羅	670 法隆寺（若草伽藍）全焼／戸籍（庚午年籍）を作成 672 大海人皇子が吉野で挙兵 壬申の乱が始まる 673 天武天皇（大海人皇子）が飛鳥浄御原宮で即位	飛鳥時代 後期（白鳳期）
唐	新羅	680 天武天皇が薬師寺建立を発願 685 山田寺本尊（山田寺仏頭）開眼 689 飛鳥浄御原令を施行	飛鳥時代 後期（白鳳期）
周	新羅	690 持統天皇（鸕野讃良皇女）即位 694 藤原京に遷都 698 薬師寺が藤原京に完成	飛鳥時代 後期（白鳳期）
周	新羅	701 大宝律令制定 702 第8回遣唐使派遣 707 元明天皇即位	飛鳥時代 後期（白鳳期）（8世紀）
唐	新羅	710 平城京に遷都／興福寺建立 718 この頃 薬師寺・法興寺（飛鳥寺）を平城京に移す	奈良時代
唐	新羅	723 三世一身の法 724 聖武天皇即位	奈良時代
唐	新羅	737 疫病（天然痘）が大流行する	奈良時代
唐	新羅	740 恭仁京に遷都　741 国分寺建立の詔　742 紫香楽宮造営 743 大仏造立の詔／墾田永年私財法　744 難波宮に遷都 745 平城に遷都　747 新薬師寺建立　749 孝謙天皇即位	奈良時代
唐	新羅	752 東大寺大仏開眼供養 754 中国・唐から鑑真和上来日 757 養老律令を施行　759 唐招提寺建立	奈良時代
唐	新羅	764 恵美押勝（藤原仲麻呂）の乱／孝謙天皇が再び即位（称徳天皇） 765 西大寺建立　768 春日大社の社殿建立	奈良時代
唐	新羅	770 光仁天皇即位	奈良時代
唐	新羅	781 桓武天皇即位 784 長岡京に遷都	奈良時代
唐	新羅	794 平安京に遷都	奈良時代

主な登場人物の生没年

- 物部守屋　?–587
- 蘇我馬子　551?–626
- 崇峻天皇　553?–592（在位587–592）
- 推古天皇　554–628（在位592–628）
- 聖徳太子（厩戸皇子）　574–622
- 蘇我蝦夷　586?–645
- 皇極（斉明）天皇　594–661（在位642–645、655–661）
- 蘇我入鹿　610?–645
- 中臣（藤原）鎌足　614–669
- 天智天皇　626–671（在位668–671）
- 天武天皇　631?–686（在位673–686）
- 役小角（役行者）　634?–701?
- 持統天皇　645–702（在位690–697）
- 大友皇子（弘文天皇）　648–672（在位671–672）
- 藤原不比等　659–720
- 元明天皇　661–721（在位707–715）
- 文武天皇　683–707（在位697–707）
- 鑑真和上　688?–763
- 光明皇后　701–760
- 聖武天皇　701–756（在位724–749）
- 藤原仲麻呂（恵美押勝）　706–764
- 孝謙（称徳）天皇　718–770（在位749–758、764–770）

〈凡例〉藤原氏　天皇家　蘇我氏

※生没年は諸説あります。

〈参考文献〉『詳説 日本史図録（第8版）』山川出版社

登場人物たちの系譜（天皇家と蘇我氏・藤原氏の関係）

激動の古代日本史の舞台で活躍した天皇・皇后・皇子と権勢を振るった豪族たちとの繋がりを見てみよう！

〈学びの旅のテーマ〉

桜の名所・吉野山。太古の自然が息づく「修験道」の聖地。「役行者」ゆかりの地を訪ねて！

役小角（役行者）

厳しい修行を乗り越えて、人々を心の「迷い」から救い出そう！

注）人物イラストについては、イメージで表現しており、学術的な正確さを追求するものではありません。

心身を鍛える厳しい修行。日本独自の「修験道」を開基。

桜の名所で知られる吉野山から熊野（和歌山県）へと続く大峯奥駈道とその一帯は、古くから金峯山と呼ばれた聖域。飛鳥時代後期、役小角（役行者）が、この地で修行を積み、日本独自の「修験道」を開きました。日本最古の説話集『日本霊異記』や『続日本紀』にも呪術者として登場。全国各地の霊山に「修験道」を広め、神通力で悩める人々を救った、病気を治したなど、逸話や伝説が残されています。

【呪術】＝神・精霊などの神秘的な力に働きかけて願いを叶えようとする行為。

金剛蔵王権現像が本尊。「修験道」の根本道場を開山。

役小角（役行者）が修行中に、金剛蔵王権現という仏さまが現れました。その姿を自ら桜の木に刻んで、大峯山（山上ヶ岳）と吉野山に祀ったのが「修験道」のはじまりです。吉野山の金峯山寺は、「修験道」の根本道場。本堂・蔵王堂には、三体の金剛蔵王権現像が本尊として祀られています。毎年、山開きの期間中には、全国からたくさんの修験者たちが訪れ、役行者の教えを実践しています。

【権現】＝仏教の仏や菩薩が仮（権）に姿を変えて日本の神として現れること。

主な学習スポットとモデルコース

<…… 徒歩

「修験道」のふるさと、中世日本史の舞台。桜の名所・吉野山をめぐる。

●所要時間＝約4時間30分／（地図）49頁参照

近鉄吉野駅
または「千本口」からロープウェイ約5分「吉野山」下車

<……（七曲坂）約25分

黒門
金峯山寺の総門。大名も馬をおりた吉野山の関所。

<…… 約3分

銅の鳥居
大峯修行を志す行者の行場の一つ。

<…… 約3分

仁王門
金峯山寺の北門。左右の仁王像は、仏師・康成の作。
※令和3年からの修理工事期間中は通行できません。

<…… すぐ

【世界遺産】金峯山寺
●見学時間＝約20分
日本最大の秘仏・金剛蔵王権現三体が本尊。役行者が開いた「修験道」の根本道場。

写真：金峯山寺

<…… 約8分

【世界遺産】吉水神社
●見学時間＝約20分
役行者創建と伝わる吉水院が起源。南朝・後醍醐天皇の行宮が置かれていた。

写真：UPフォトス

<…… 約35分

如意輪寺
●見学時間＝約20分
後醍醐天皇の勅願寺。ゆかりの品々が宝物殿に。裏山に天皇が眠る塔尾陵も。

写真：UPフォトス

<…… 本堂から往復約10分

後醍醐天皇陵（塔尾陵）
●見学時間＝約5分

<…… 約45分

花矢倉展望台
●見学時間＝約10分
眼下に広がる上千本・中千本の桜と金峯山寺蔵王堂を望む、絶好の眺望スポット。

写真：UPフォトス

<…… 約20分

竹林院
●見学時間＝約15分
大和三庭園の一つ。庭園「群芳園」は、桃山中期の代表的な借景庭園。太閤秀吉が花見の宴を行った。

写真：UPフォトス

<…… 約5分

櫻本坊
●見学時間＝約20分
天武天皇の建立。即位を予見した「夢見の桜」が境内に。吉野山最古の仏さまでも有名。

写真：UPフォトス

<…… 約40分

近鉄吉野駅

〈オプションコース〉

花矢倉展望台から、さらに吉野山奥千本の世界遺産へ。

●所要時間＝約3時間（地図）49頁参照

花矢倉展望台

<…… 約4分

【世界遺産】吉野水分神社
●見学時間＝約5分
主祭神は水の分配を司る天之水分大神。豊臣秀頼が再建した社殿は桃山様式の美しい建築。

写真：UPフォトス

<…… 約30分

【世界遺産】金峯神社
●見学時間＝約5分
金峯山の地主神が、ご祭神。近くに、追っ手に追われた源義経と弁慶が隠れた塔も。

写真：UPフォトス

<…… すぐ

義経隠れ塔
●見学時間＝約5分

<…… 約20分

西行庵
●見学時間＝約5分
歌人・西行が武士を捨て、法師となって結んだ庵。歌に詠まれた苔清水が近くに。

<…… 約40分

花矢倉展望台

<…… 約1時間

近鉄吉野駅

役行者開基、「修験道」の聖地。中世日本史の舞台となった吉野山。

金峯山寺、吉水神社、如意輪寺など

金峯山寺蔵王堂 秘仏本尊・金剛蔵王権現三体（重文）※国宝仁王門修理勧進のため、毎年一定の期間に御開帳されます。 写真：金峯山寺

厳しい山林修行で得た「神通力」。悩める人たちを救った役行者。

役小角（役行者）は、634年に蘇我氏の領地だった茅原（御所市）の里に生まれました。645年に蘇我氏が滅んでから一帯は荒れ、「大化の改新」、近江遷都、「壬申の乱」と、世の中が変化する中で、民衆は重い税や労役に苦しんでいました。幼い頃から葛木山（現在の葛城山・金剛山）の中で修行していた小角は、そんな人々を救いたいと厳しい修行を続けました。次第に神通力を身につけ、夫婦の鬼（前鬼と後鬼）を従えて、悩める人々を救ったといわれています。

●「大化の改新」・近江遷都・「壬申の乱」（09頁参照）

役行者像（金峯山寺から脳天大神への道沿いに）
写真：金峯山寺

険しい山々を歩き、悟りの境地へ。最も重要な修行「奥駈修行」。

吉野山と熊野を結ぶ大峯奥駈道は、標高2000m近くある山々を越える起伏の激しい尾根道。「修験道」では、この道を歩き、祈る「奥駈修行」を最も重要な修行としています。役行者は、「心身を鍛え、迷いから心を解き放てば、出家して僧にならなくても、悟りの境地に至ることができる」と説き、近畿を中心とした役行者ゆかりの霊山に、その教えが受け継がれています。

●大峯奥駈道（地図）46頁

大峯山寺本堂（重文） 写真：UPフォトス

「奥駈修行」（西ノ覗：にしののぞき）1本の命綱を頼りに、断崖絶壁の縁から身を乗り出し、仏の世界を見るという大峯山（山上ヶ岳）での修行。
写真：天川村

ドラマチックな日本史の舞台。古くから知られる隠れ里・吉野。

「よき人の よしとよく見て よしと言ひし 吉野よく見よ よき人よく見つ」と、大海人皇子が万葉歌に詠んだように、古くから、俗界を離れた、静かで清浄な地とされた吉野。源頼朝に追われた源義経と弁慶が隠れたと伝わる「義経隠れ塔」や南朝・後醍醐天皇の行宮跡、豊臣秀吉が絶頂期に催した盛大な花見の宴など、ドラマチックな日本史が繰り広げられました。

●大海人皇子（09頁～12頁参照）／「義経隠れ塔」（地図）49頁・K3

如意輪寺（南朝・後醍醐天皇の勅願寺）
写真：UPフォトス

現地で学ぼう！感じよう！

◎修験道の根本道場・金峯山寺の本尊、日本最大の秘仏・金剛蔵王権現。

金峯山寺本堂・蔵王堂〈国宝〉 写真：金峯山寺

役行者の厳しい修行中に現れた金剛蔵王権現。権現とは、「（仏が）権（仮）の姿で現れた」の意で、日本独自の仏さまです。金峯山寺・蔵王堂には、約7mもある日本最大の秘仏・金剛蔵王権現三体が本尊として祀られています。釈迦如来（過去世）・千手観音（現在世）・弥勒菩薩（未来世）の化身で、三世にわたって私たちを救ってくださいます。特別御開帳期間に、ぜひ拝観しよう。

●金峯山寺（地図）49頁・K1

◎鎌倉～南北朝～安土桃山時代。中世日本史の舞台となった吉水神社。

吉水神社 写真：UPフォトス

吉野山が桜色に染まる季節には、境内からの眺望が「一目千本」ともいわれる吉水神社。鎌倉時代には、源頼朝に追われた源義経と静御前らがここに身を潜め、南北朝時代には、南朝・後醍醐天皇の行宮となりました。また、安土桃山時代には、豊臣秀吉が名だたる武将たちを招いて催した「太閤秀吉の花見」の本陣にも。中世日本史に登場する人物にゆかりある数々の宝物が守られているので見学してみよう。

●吉水神社（地図）49頁・K2
【行宮】＝天皇の行幸（外出）の時に、旅先に設けた仮宮（御殿）。

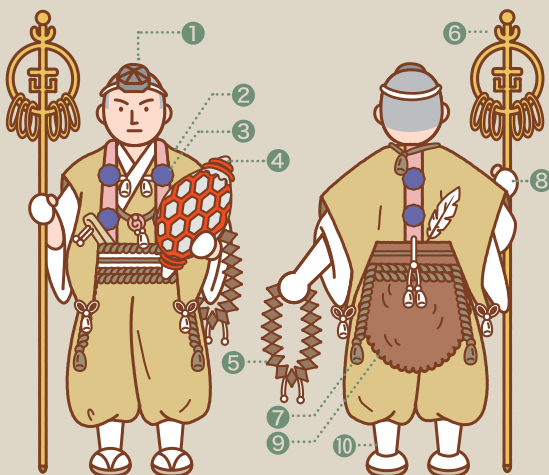
◎南朝を開いた後醍醐天皇。勅願寺・如意輪寺に残る、ゆかりの宝物。

如意輪寺 金剛蔵王権現立像（重文）源慶作 写真：飛鳥園

足利尊氏らとともに鎌倉幕府を倒した後醍醐天皇は、その後、離反した尊氏との戦いで忠臣・楠正成らを失い、行幸した吉野山に南朝を開きました。如意輪寺は、後醍醐天皇の勅願寺で、裏山には天皇が眠る塔尾陵も。楠正成の子・正行が大阪四条畷の決戦出陣前に詠んだ辞世の歌を鏃で刻んだ扉や天皇の念持仏である仏師・源慶作の金剛蔵王権現像など、ゆかりの品々を安置する宝物殿を拝観しよう。

●如意輪寺・後醍醐天皇塔尾陵（地図）49頁・L2
【念持仏】＝個人が毎日拝むために身近に置いた仏像。

もっと知るなら！

修験者の心身を守り、鍛える装束とは？

岩や枝から身を守る！
❶頭襟（ときん）
守り神・大日如来の冠をかたどったもので、悪霊から身を守る。

冷たい霧から身を守る！
❷鈴繫（すずかけ）
鈴の音を通して、いつも大日如来とともに在ることを感じる。

修行の意味を心に刻む！
❸結袈裟（ゆいげさ）
修験の装束独特のもの。6つの丸い房が6つの修行を象徴。

修験者同士の連絡道具！
❹法螺（ほら）
正しい教えを多くの人々に伝える意味も。また獣除けにも。

心の"迷い"を打ち砕く！
❺最多角念珠（いらたかねんじゅ）
算盤の玉のような形の数珠。擦り合わせると"カリカリ"という音が。

読経時のリズムと虫除け！
❻錫杖（しゃくじょう）
いくつもの金属の輪がかかった杖を振り鳴らしながらお経を読む。

危険時のザイル（命綱）！
❼螺緒（かいのお）
腰に巻く組み紐の綱。生まれた時からの仏との繋がりを表すとも。

手の甲を怪我から守る！
❽手甲（てっこう）
太い血管が通っている手の甲を傷つけないように守る。

山中のどこでも座れる！
❾引敷（ひっしき）
鹿や兎の皮の上に座るのは修験者の"とらわれない心"を表す。

両足を守るサポーター！
❿脚絆（きゃはん）
足首からふくらはぎにかけて巻き、険しい道でも歩きやすく。

おすすめ！体験スポット

金峯山寺「朝夕の勤行・止観体験」

修験道の根本道場・金峯山寺蔵王堂で朝夕の勤行（僧侶のお勤め）を体験。また、僧侶が吉野山の宿泊施設へ出張して止観（座禅）の体験も。

●（地図）49頁・K1
主な体験プログラム一覧（41・42頁 A13）

金峯山寺「座禅体験」 写真：金峯山寺

「ヤマト王権」発祥の地とされる日本神話の舞台へ。

大神神社、箸墓古墳、石上神宮など

●山の辺の道(地図)46頁(JR・近鉄桜井駅下車北へ徒歩)

三輪山の朝景　写真：UPフォトス

『倭は国のまほろば』。美しい古の風景が今も。

『古事記』に詠われた「まほろば」は、真秀(本当に優れた)場所の意。大和平野の東、山裾を南北に通る山の辺の道沿いから美しい古の風景が楽しめます。三輪山麓の大神神社は、日本最古の神社の一つ。拝殿奥の三ツ鳥居を通して三輪山を拝みます。少し北には真東を向いて三ツ鳥居だけが建つ檜原神社があります。稲作農耕が中心だった古代人は、三ツ鳥居から昇る太陽の位置で暦を知ったともいわれています。

大神神社の摂社・檜原神社「三ツ鳥居」　写真：大神神社

大神神社・拝殿　写真：奈良県ビジターズビューロー

遺跡・古墳群が点在。「邪馬台国」の候補地も。

山の辺の道沿いには、数々の遺跡や古墳群、古社があります。日本最大級の前方後円墳・箸墓古墳の周囲に、3世紀初め頃の大集落跡・纏向遺跡が発見されたことから、一帯が初期のヤマト王権の中心地だったことがわかりました。また、女王・卑弥呼が治めた「邪馬台国」畿内説の最有力候補地にも。石上神宮は、物部氏にゆかりのある日本最古の神社の一つ。参道では、暁(夜明け)を告げる神の使い・御神鶏がいます。

石上神宮・拝殿〈国宝〉
写真：奈良県ビジターズビューロー

2022年オープンの新名所！

「なら歴史芸術文化村」

奈良の歴史芸術文化を知る・学ぶ・体験する・楽しむことを通じ、新たな感性が生まれることをテーマに、2022年3月に開村予定。文化財修復現場の見学や奈良特有の素材を活かしたアートプログラム、伝統工芸の技術体験なども。

●(地図)46頁(JR・近鉄天理駅→バス「勾田」下車徒歩約15分)

なら歴史芸術文化村(完成予想図)

ひと足のばして古代・弥生体験！

唐古・鍵遺跡史跡公園「弥生体験」

唐古・鍵遺跡は、約2000年前の環濠集落の遺跡。弥生時代の風景が再現された広大な史跡公園には、復元楼閣や、大型建物の柱穴が見られる遺構展示情報館などがある。また、火おこし体験・まが玉作り・ミニ銅鐸作りなど、弥生人の暮らしを体験してみよう。

●(地図)46頁(近鉄石見駅下車徒歩約20分／近鉄田原本駅・西田原本駅→タクシー約10分)

唐古・鍵遺跡史跡公園　写真：田原本町教育委員会

「観音巡礼」発祥の地と女人救済の聖地へ。

長谷寺、室生寺

●長谷寺(地図)46頁(近鉄長谷寺駅下車徒歩約15分)
●室生寺(地図)46頁(近鉄室生口大野駅→バス「室生寺前」下車徒歩約5分)

長谷寺・本堂〈国宝〉とぼたん　写真：UPフォトス

長谷寺・十一面観世音菩薩立像(重文)
写真：奈良県ビジターズビューロー

日本の古典文学にも登場。「花の御寺」長谷寺。

季節の花々、紅葉の名所として名高い長谷寺。本尊は、お地蔵さまと観音さま両方のご利益があるといわれる十一面観世音菩薩で、平安時代に貴族たちの間で「初瀬詣で」が広まり、『源氏物語』『枕草子』などの古典文学にも登場しました。西国三十三所観音霊場でも知られ、奈良時代の高僧・徳道上人が、三十三の姿に変化して救済する観音さまの教えをもとに観音巡礼を世に広めたのが始まりといわれています。

女性的な堂塔と美仏たち。「女人高野」室生寺。

奥深い山々と谷に囲まれ、静かで清浄な空気に包まれる室生寺。江戸時代には、徳川将軍・綱吉の母・桂昌院の援助で栄え、女人禁制の高野山に対し、女人救済のお寺として親しまれてきました。

室生寺・五重塔〈国宝〉としゃくなげ
写真：UPフォトス

檜皮葺きの五重塔は、屋外では日本最小。金堂本尊・釈迦如来像や端正な顔立ちの十一面観音菩薩像、流れるような衣文(衣のひだ)が美しい釈迦如来坐像など、平安時代初期の仏たちが、やさしく出迎えてくれます。

室生寺・十一面観音菩薩立像〈国宝〉
※室生寺寶物殿に安置　写真：飛鳥園

主な学習施設一覧

若草山・東大寺・興福寺を間近に一望！

奈良県庁舎屋上広場

地図47頁【C】-2

●開放時間／奈良県ホームページ「奈良県庁舎屋上広場の開放日程について」参照
●入場料／無料
●お問合せ／TEL.0742-27-8406(奈良県管財課)
◎アクセス／JR・近鉄奈良駅→市内循環バス「県庁前」下車すぐ(近鉄奈良駅下車徒歩約5分)

URL http://www.pref.nara.jp/4203.htm

写真：UPフォトス

写真：東大寺

東大寺の歴史と美術が学べるミュージアム！

東大寺ミュージアム

地図47頁【C】-2

●開館時間／9:30～大仏殿閉門時間まで(入館30分前まで)
　※大仏殿閉門時間(4月～10月17:30、11月～3月17:00)
●休館日／なし(臨時休館日あり)
●入館料／おとな(中学生以上)600円、小学生300円
　※団体割引あり(教職員無料)
●お問合せ／TEL.0742-20-5511
◎アクセス／JR・近鉄奈良駅→市内循環バス「東大寺大仏殿・春日大社前」下車徒歩約5分

URL http://culturecenter.todaiji.or.jp/museum/

写真：飛鳥園

阿修羅像をはじめ貴重な寺宝が一堂に！

興福寺国宝館

地図47頁【C】-1

●開館時間／9:00～17:00(入館16:45まで)
●休館日／なし
●拝観料／おとな700円、高校・中学生600円、小学生300円
　※団体料金あり
●お問合せ／TEL.0742-22-5370
◎JR奈良駅→市内循環バス「県庁前」下車すぐ(近鉄奈良駅下車徒歩約5分)

URL https://www.kohfukuji.com/construction/c08/

写真：春日大社

別名「平安の正倉院」。美術工芸品・武具の名品を鑑賞！

春日大社国宝殿

地図47頁【D】-3

●開館時間／10:00～17:00(入館16:30まで)
●休館日／年4回の展示入替時に1日～2日間(臨時休館あり)
●拝観料／一般500円、大学・高校生300円、中学・小学生200円
　※特別展は別料金、大学生以下の団体割引なし
●お問合せ／TEL.0742-22-7788(春日大社)
◎アクセス／JR・近鉄奈良駅→バス「春日大社本殿」下車すぐ。または市内循環バス「春日大社表参道」下車徒歩約10分

URL https://www.kasugataisha.or.jp/museum/

写真：奈良国立博物館(展示替えの場合あり)

「正倉院展」でおなじみ。仏教美術の名品を多数所蔵！

奈良国立博物館「なら仏像館」

地図47頁【C】-2

●開館時間／9:30～17:00(入館30分前まで)
●休館日／月曜日(休日の場合は翌日、連休の場合は終了後の翌日、臨時休館あり)
●入館料／一般700円、大学生350円、高校生以下・18歳未満無料　※特別展は別料金、団体割引あり
●お問合せ／TEL.050-5542-8600(ハローダイヤル)
◎アクセス／JR・近鉄奈良駅→市内循環バス「氷室神社・国立博物館」下車すぐ

URL https://www.narahaku.go.jp/

写真：UPフォトス

伝統的な奈良の町家で先人の知恵を学ぶ！

奈良市ならまち格子の家

地図47頁【D】-1

●開館時間／9:00～17:00
●休館日／月曜日(休日の場合は翌日)、休日の翌日(土・日曜日と休日を除く)、年末年始
●入場料／無料
●お問合せ／TEL.0742-23-4820
◎アクセス／JR・近鉄奈良駅→市内循環バス「田中町(ならまち南口)」下車徒歩約2分

URL https://www.city.nara.lg.jp/site/shisetsu/6242.html

写真：平城宮跡歴史公園

平城宮を体感。平城宮跡歴史公園の見どころをガイド！

平城宮跡歴史公園「平城宮いざない館」

地図47頁【A】-1

●開館時間／10:00～18:00(入館17:30まで)
　※6月～9月10:00～18:30(入館18:00まで)
●休館日／2月・4月・7月・11月の第2月曜日(休日の場合は翌日)、年末年始
●入館料／無料
●お問合せ／TEL.0742-36-8780(平城宮跡管理センター)
◎アクセス／近鉄大和西大寺駅(南口)または新大宮駅下車徒歩約20分。またはJR奈良駅(西口)・近鉄奈良駅→バス「朱雀門ひろば前」下車すぐ

URL https://www.heijo-park.go.jp/area/suzakumon/izanaikan/

写真：奈良文化財研究所

出土品などから平城京の人々の暮らしと文化を学ぶ！

奈良文化財研究所 平城宮跡資料館

地図47頁【A】-1

●開館時間／9:00～16:30(入館16:00まで)
●休館日／月曜日(休日の場合は翌平日)、年末年始
●入場料／無料
●お問合せ／TEL.0742-30-6753(奈良文化財研究所)
◎アクセス／近鉄大和西大寺駅(北口)下車徒歩約10分

URL https://www.nabunken.go.jp/heijo/museum/

写真：国営飛鳥歴史公園

キトラ古墳壁画、古代飛鳥の暮らしを楽しく学ぶ！

キトラ古墳壁画体験館 四神の館

地図48頁【H】-2

●開館時間／3月～11月 9:30～17:00、12月～2月 9:30～16:30
●休館日／年末年始
●入館料／無料
●お問合せ／TEL.0744-54-5105
◎アクセス／近鉄壺阪山駅下車徒歩約15分、飛鳥駅下車徒歩約30分。または飛鳥駅→バス「キトラ」下車すぐ

URL https://asuka-park.go.jp/area/kitora/midokoro

写真：UPフォトス

発掘された実物資料で古代飛鳥の歴史・文化を学ぶ！

奈良文化財研究所 飛鳥資料館

地図48頁【F】-3

●開館時間／9:00～16:30(入館16:00まで)
●休館日／月曜日(休日の場合は翌平日)、年末年始
●入館料／一般350円、大学生200円、高校生以下・18歳未満無料
●お問合せ／TEL.0744-54-3561
◎アクセス／近鉄橿原神宮前駅または飛鳥駅→明日香周遊バス「明日香奥山・飛鳥資料館西」下車すぐ

URL https://www.nabunken.go.jp/asuka/

写真：奈良県立万葉文化館

見て・聞いて・触れる万葉の世界。古人のこころを学ぶ！

奈良県立万葉文化館

地図48頁【G】-3

●開館時間／10:00～17:30(入館17:00まで)
●休館日／月曜日(休日の場合は翌平日)、年末年始、展示替日
●入館料／無料(日本画展示室の展覧会のみ有料：教育旅行でご来館の場合は観覧無料)
●お問合せ／TEL.0744-54-1850
◎アクセス／近鉄橿原神宮前駅または飛鳥駅→明日香周遊バス「万葉文化館西口」下車すぐ(飛鳥駅からレンタサイクルで約20分)

URL http://www.manyo.jp/

写真：奈良県立橿原考古学研究所附属博物館

出土品展示や映像で日本の歴史を目で見て学ぶ！

奈良県立橿原考古学研究所附属博物館

地図48頁【F】-1

●開館時間／9:00～17:00(入館16:30まで)
　※2021年秋、リニューアルオープン予定。
●休館日／月曜日(休日の場合は翌平日)、年末年始、臨時休館日
●入館料／おとな400円、大学・高校生300円、中学・小学生200円　※団体割引あり
●お問合せ／TEL.0744-24-1185
◎アクセス／近鉄畝傍御陵前駅下車徒歩約5分。または橿原神宮前駅下車徒歩約15分

URL http://www.kashikoken.jp/museum/

主な体験プログラム一覧① 歴史・文化体験など

※社会情勢等の影響により、内容が変更になる場合や受入をお断りする場合があります。【早朝】9:00までに体験可 【夜間】夕食後に体験可

A.お写経・写仏・座禅 法話・勤行など

記号	体験プログラム	施設名・管理団体	出張	内容	所在地	アクセス	受入人数(対象)	所要時間	費用(お一人様・税込)	受付時期・時間	ご予約・お問合せ
A-01	①法話/②お写経	法相宗大本山 薬師寺	◎	①仏教の歴史や暮らしの心構え等を解説。(奈良県内出張可:志納料要) ②『般若心経』の書写。(出張は人数・会場により要相談)	奈良市西ノ京町457	近鉄西ノ京駅下車すぐ	①1名～300名 ②1名～150名	①30分から ②60分から	①無料(寺内法話) ②2,000円	①8:30～16:30 ②8:30～16:00 時間外は要相談 【早朝】【夜間】	0742-33-6001(山田祐紀) yamada@yakushiji.or.jp
A-02	①お写経/②写仏	華厳宗大本山 東大寺		①『華厳唯心偈(けごんゆいしんげ)』または『般若心経』。 ②『華厳五十五所絵巻』に描かれたみ仏。大仏さまの胎内に奉納も(要予約)。	奈良市雑司町406-1	JR・近鉄奈良駅→バス「東大寺大仏殿・春日大社前」下車徒歩約5分	①②ともに1名～13名	①60分 ②120分～180分	①1,500円 ②3,000円	①9:00～15:00 ②9:00～14:00 ※法要・行事時期は不可	0742-22-5511
A-03	出張法話&瑜伽行体験	法相宗大本山 興福寺	◎	僧侶の法話と瑜伽行による瞑想体験。瑜伽とは心を制御・統一する修行法で、ヨーガも瑜伽に由来する。	奈良市登大路町48	宿泊施設で実施	要相談 ※興福寺拝観予定の団体限定	30分～60分	300円	17:00～20:00 【夜間】	0742-22-7755(FAX.0742-23-1971)
A-04	座 禅	真言律宗 元興寺	◎	元興寺本堂・極楽堂〈国宝〉で参拝後、禅室〈国宝〉にて座禅を体験。	奈良市中院町11	近鉄奈良駅下車徒歩約12分	30名～150名程度	75分程度	高校・中学生:800円/小学生:600円 ※夜間は別途料金要	9:00～16:30 ※事前申込制 【夜間】	0742-23-1377(副住職:辻村泰道) taidou@gangoji.or.jp
A-05	①国宝御本殿特別参拝 ②国宝御本殿夜間参拝と雅楽体験	春日大社		①神職等の案内による御本殿特別参拝と釣燈籠の拝観。 ②神職等の案内による御本殿夜間参拝後、雅楽の歴史紹介と実演。	奈良市春日野町160	JR・近鉄奈良駅→バス「春日大社本殿」下車すぐ。または「春日大社表参道」下車徒歩約10分	①②ともに 40名～150名	①約40分 ②約60分	①900円 ②1,500円	①9:00～16:00 ②17:00～19:00 ※事前予約制 【夜間】	0742-22-7788(渉外部:徳田・宇堂) omairi-reception@kasugataisha.or.jp
A-06	お写経	眞言律宗総本山 西大寺		『般若心経』または『光明真言(こうみょうしんごん)』を筆等を用いて書写し、経典の文字に触れる体験。	奈良市西大寺芝町 1-1-5	近鉄大和西大寺駅下車 徒歩約3分	30名程度まで ※30名以上応相談	30分～90分	1,000円	8:30～15:30 ※5名以上要予約 【早朝】	0742-45-4700 saidaiji@marble.ocn.ne.jp
A-07	「青春いろは写経」と法話聴聞体験	法相宗別格本山 喜光寺	◎	「いろは歌」のお写経体験で精神統一。法話では、奈良の仏教文化や歴史、行基(ぎょうき)菩薩の功績を学ぶ。	奈良市菅原町508	近鉄尼ヶ辻駅下車 徒歩約10分	30名(写経道場) ※宿泊施設は30名以上可	40分～60分	1,000円(高校・中学生) ※出張費別途要	9:00～16:00 【夜間】	0742-45-4630(副住職:小林澤應) info@kikouji.com
A-08	「住職講話会」 (奈良県内宿泊の教育旅行のみ対象)	平城宮跡歴史公園「天平うまし館」内 「トキジクキッチン平城京」		レストラン「トキジクキッチン平城京」で、海龍王寺(かいりゅうおうじ)住職による対話を重視した講話を体験。	奈良市二条大路南 4-6-1	近鉄大和西大寺駅下車 (南口)徒歩約20分	10名以上 ※要相談	30分～60分程度	要相談	要相談・お問合せ (3カ月以上前まで) 【夜間】	0742-35-8201(平城京 再生プロジェクト) info@suzakumon-heijokyo.com
A-09	D.I.Y.抹茶	慈光院		自分で茶筅(ちゃせん)を使って抹茶を点(た)て、それを味わう体験。	大和郡山市小泉町 865	西名阪道「まほろばスマートI.C.」から北北西へ約10分。または第二阪奈道「中町ランプ」から南へ約15分	2クラス(80名)まで	20分～30分 (拝観別)	1,000円	9:00～17:00 ※10月の第3日曜日とその前日は体験不可	0743-53-3004
A-10	坐禅・お写経	信貴山大本山 千手院	◎	坐禅およびお写経にて、仏教のこころに触れる体験。	生駒郡平群町信貴山 2280-1	JR王寺駅または近鉄信貴山下駅→バス「信貴大橋」下車徒歩約5分	20名	60分	3,000円	要相談 ※事前予約制 【早朝】【夜間】	0745-72-4481(清水・福田) info@senjyuin.or.jp
A-11	①法話と瞑想 ②法話と百八礼拝 ③お写経または写仏	信貴山大本山 玉蔵院	◎	①法話の後、呼吸法を学ぶ。②①の法話後、百八回の礼拝。 ③短いお経のお写経または写仏。(筆ペン持参)	生駒郡平群町信貴山 2280-1	JR王寺駅または近鉄信貴山下駅→バス「信貴大橋」下車徒歩約5分	①②10名～200名まで ③10名～50名まで	①30分～50分 ②30分～60分 ③60分～90分	①②500円～1,000円 ③1,000円 ※10名以上は会場費別途要	9:00～18:00 ※繁忙期・行事時期は受入不可もあり 【早朝】【夜間】	0745-72-2881 gyokuzo@skyblue.ocn.ne.jp
A-12	①お写経 ②D.I.Y.抹茶 ③川原寺物語(礎石)	川原寺跡 弘福寺		①日本初の写経道場で体験。②抹茶を自分で点(た)てる体験。 ③飛鳥時代の歴史を学び、本物の礎石に触れる。	高市郡明日香村川原 1109	近鉄橿原神宮前駅(東口)または飛鳥駅→バス「川原」下車徒歩約2分	1名～50名	30分から	300円から	9:00～17:00 【早朝】【夜間】	0744-54-2043(扇谷) kawaharadera.12c@gmail.com
A-13	①朝夕の勤行 ②止観(座禅)	金峯山修験本宗総本山 金峯山寺	◎	①金峯山寺蔵王堂〈国宝〉内にて、朝夕のお勤めを体験。 ②吉野山の宿泊施設にて、座禅を体験。	吉野郡吉野町吉野山 2498	近鉄吉野駅→ロープウェイ吉野山駅下車徒歩約10分	①1名～50名 ②要相談	①40分 ②60分	①無料(本尊御開帳期間中は拝観料別途要) ②要相談	①朝の勤行6:30から/夕方の勤行16:30から ②要相談 ①②ともに事前に要相談 【早朝】【夜間】	0746-32-8371 office@kinpusen.or.jp

法話体験 写真:薬師寺

朝の勤行体験(朝座風景) 写真:金峯山寺

止観(座禅体験) 写真:金峯山寺

B.伝統芸能体験・鑑賞(能・狂言・雅楽)

記号	体験プログラム	施設名・管理団体	出張	内容	所在地	アクセス	受入人数(対象)	所要時間	費用(お一人様・税込)	受付時期・時間	ご予約・お問合せ
B-01	奈良ならではの芸能「能楽」面白講座	NPO法人 奈良能	◎	「能楽」を通じて伝統芸能の歴史・文化を学ぶ。能面・能装束・お囃子の解説、体験も。最後に能楽公演を鑑賞。	奈良市北市町59-1-605 (ディアステージ奈良船橋)	ホテル・旅館等へ出張可 (3m四方スペースがあれば実施可)	実施会場の定員まで	30分～120分 ※相談可	お囃子コンサート:100,000円から 能楽実演:200,000円から	9:00～20:00(1週間前まで) ※人数・予算により内容変更可 【早朝】【夜間】	0742-24-5171(船内) silvery@ksj.biglobe.ne.jp
B-02	金春流能楽体験講座	西御門(にしみかど)金春会	◎	能楽講座、謡(うたい)・舞体験、本物の楽器体験、本格的な能楽鑑賞まで。人数・時間・ご予算に応じて企画。	奈良市西大寺東町1-3-15 (西御門金春会西大寺舞台)	近鉄西大寺駅下車北へ 徒歩約5分	西大寺舞台15名程度まで (それ以上は他会場にて)	応相談 講座20分/ 講座・演能120分	事前に要相談 ※出張費別途要 ※能楽堂での体験は要白足袋 (それ以外は白ソックスでも可)	随時 【夜間】	0742-33-9720 ※FAX.共(金春穂高) https://nishimikadokomparukai.com
B-03	狂言笑学校(狂言体験)	旅館松前 奈良篠基(しのき)会	◎	能舞台鑑賞とワークショップ。能舞台の秘密や狂言の演出法を学び、声を出したり、装束を身に着けて狂言を体験。	奈良市東寺林町28-1	近鉄奈良駅下車徒歩約10分	40名まで	約60分	一舞台:100,000円 ※要相談	体験日の1年前から受付 【早朝】【夜間】	0742-22-3686(旅館松前:柳井) hanami626@solid.ocn.ne.jp
B-04	狂言鑑賞・ワークショップ	一般社団法人 忠三郎狂言会	◎	狂言に親しむワークショップ。本舞台の醍醐味を体感し、日本の伝統文化をより身近に感じる機会づくりに。	京都市北区紫野 雲林院町83-221 (忠三郎狂言会事務局)	宿泊施設、能楽堂、貸会場、貸ホールで実施	最低催行人数:50名以上	45分～60分	2,500円(生徒) ※会場費は別途要 (能楽堂以外は楽屋要)	随時受付 【早朝】【夜間】	075-701-2011 info@chuzaburo.com
B-05	雅楽演奏の実施・鑑賞	株式会社 雅房	◎	日本最古の伝統音楽である雅楽の管絃(楽器の演奏)と舞楽(伴奏に合わせた舞踏)を鑑賞。楽器の体験も。	天理市田井庄町656	宿泊先や施設等へ出張演奏	50名～200名程度 ※要相談	15分～50分程度 ※応相談	200,000円程度から ※演奏者人数により要相談	随時受付 【夜間】	0743-87-9978/090-2046-2186(井岡) info@gabow.co.jp

雅楽鑑賞 写真:株式会社雅房

C.伝統行事体験 演劇鑑賞など

記号	体験プログラム	施設名・管理団体	出張	内容	所在地	アクセス	受入人数(対象)	所要時間	費用(お一人様・税込)	受付時期・時間	ご予約・お問合せ
C-01	鹿寄せ	一般財団法人 奈良の鹿愛護会		奈良の風物詩「鹿寄せ」を体感。ナチュラルホルンの音色に誘われて、たくさんの鹿が集まって来る風景は圧巻。	奈良市春日野町 160-1	「春日大社境内」飛火野で実施 (JR・近鉄奈良駅→バス「春日大社表参道」下車すぐ)	要お問合せ	20分～30分	1回:21,000円	要お問合せ ※事前予約制 【早朝(要相談)】	0742-22-2388 info@naradeer.com
C-02	なら燈花会体験プラン (奈良市内宿泊の教育旅行のみ対象)	NPO法人 なら燈花会の会	◎	奈良公園の自然の中で、先生とクラスメイトとともに、ろうそくの花を咲かせる体験。記念品付のプレミアムコースも。	奈良市三条町547	奈良公園 登大路園地他で実施 (JR奈良駅→バス県庁前下車すぐ。または近鉄奈良駅下車徒歩約7分)	最低催行人員:40名から ※出張費要相談	80分(実施)	1クラスにつき約300灯 ◎プレミアムコース:2,090円 ◎スタンダードコース:1,540円	催行日の2カ月前まで ※申込用紙をFAXで送信 【夜間】	0742-21-7515(FAX.0742-21-7520) info@toukae.jp
C-03	大茶盛式	眞言律宗総本山 西大寺		巨大な茶碗で抹茶を振舞う西大寺の伝統的儀式。本堂を拝観後、光明殿にて大茶盛を拝服。(抹茶・金銭菓)	奈良市西大寺芝町 1-1-5	近鉄大和西大寺駅下車 徒歩約3分	220名(1席:110名程度) ※入替制	60分	1,300円 (本堂拝観と大茶盛)	9:00～15:30 時間外は応相談 ※事前予約制 【早朝】	0742-45-4700 saidaiji@marble.ocn.ne.jp
C-04	けまり体験	談山神社		本物のけまり装束を身に着けて、本物の鞠をける体験。談山神社の由緒や、けまりの歴史を神職が解説。	桜井市多武峰319	JR・近鉄桜井駅→バス 「談山神社」下車徒歩約5分	6名ごとに交代で装束を着装 ※要相談	40分～60分	2,000円+700円(クリーニング・修理代) ※入山料別途要	8:30～16:00 事前に要お問合せ ※神社の祭典日は体験不可 【早朝】	0744-49-0001(権祢宜:土居) info@tanzan.ne.jp
C-05	古代蹴鞠	明日香村伝承芸能保存会 「飛鳥蹴鞠」	◎	飛鳥時代に中国から伝わった蹴鞠を20年かけて復元。 解説の後、5～10名で鹿皮製の鞠を使用した蹴鞠を体験。	高市郡明日香村平田 256	国営飛鳥歴史公園内 石舞台地区 芝生公園他で実施	1名～30名 (小学生以上)	30分	1回:5,000円	要相談 【夜間】	0744-54-3058(代表:服部)
C-06	劇団「時空」演劇鑑賞	あすか劇団「時空」	◎	中大兄皇子、中臣鎌足らが蘇我入鹿を倒した飛鳥時代の政変「大化の改新」を上演。楽しい歴史クイズも。	高市郡明日香村越6-3 一般社団法人 飛鳥観光協会内	宿泊施設、国営飛鳥歴史公園内石舞台地区 あすか風舞台、中央公民館他で実施	10名～300名	50分	500円(100名以上) ※100名未満は一式50,000円	随時受付 【夜間】	090-3350-7585(代表:上山) y-ueyama@mvg.biglobe.ne.jp

劇団「時空」演劇鑑賞
写真:あすか劇団「時空」

D.施設見学と体験、鹿の生態観察など

記号	体験プログラム	施設名・管理団体	出張	内容	所在地	アクセス	受入人数(対象)	所要時間	費用(お一人様・税込)	受付時期・時間	ご予約・お問合せ
D-01	奈良国立博物館学校プログラム	奈良国立博物館 (講堂ならびに「なら仏像館」)		スライド学習の後、ボランティアによる仏像解説を聴きながら「なら仏像館」を見学。文化財の大切さを学ぶ。	奈良市登大路町50	JR・近鉄奈良駅→バス「氷室神社・国立博物館」下車すぐ	180名 ※90名以上は2グループに分け交替制で実施	約75分	無料	9:30～15:00	0742-94-5122(ボランティア室) volunteer_narahaku@nich.go.jp
D-02	奈良公園の鹿ガイド	鹿サポーターズクラブ		鹿の生態について学び、ディアラインや自然のリサイクル活動など、奈良公園の景観(自然)を観察する。	奈良市登大路町49	奈良公園内で実施	6名程度(1グループ)	要相談	要相談	9:00～17:00 (月曜日休)	0742-93-8100 info@shikasapo.jp
D-03	平城楽習パック	平城宮跡歴史公園 「天平みはらし館」管理事務所		平城宮跡の体験学習ツールを貸出すプログラム。 事前学習・現地学習・事後学習を効果的にサポート。	奈良市二条大路南 4-6-1	近鉄大和西大寺駅下車 (南口)徒歩約20分	—	60分から	無料(往復運送費要) ※現地で受取・返却も可	平城宮跡歴史公園管理事務所 月曜日休(祝日の場合は翌平日)、12/28～1/4休	0742-35-8201(平城京 再生プロジェクト) info@suzakumon-heijokyo.com
D-04	博物館見学と考古学体験学習	奈良県立橿原考古学研究所 附属博物館		学芸員の解説・案内で考古学から見た歴史を体感。 遺物に触れ、パズルなどの教材で考古学を楽しむ体験も。	橿原市畝傍町50-2	近鉄畝傍御陵前駅下車 徒歩約5分	要相談(小学生以上)	要相談	常設展示 高校生:300円 中学・小学生:200円	9:00～17:00(月曜日休) ※2021年秋にリニューアルオープン予定	0744-24-1185
D-05	遺物修復体験と博物館見学、古墳めぐり	歴史に憩う橿原市博物館 橿原市教育委員会文化財課	◎	学芸員と「出土土器の修復体験」「博物館見学」「古墳散策」を行う。本物の文化財に触れて学ぶ体験プログラム。	橿原市川西町858-1	近鉄橿原神宮前駅下車 徒歩約30分	要相談(小学生以上)	要相談	観覧料要 ※出張費要相談 ※引率の教職員は無料	要相談	0744-47-1315(文化財課) rekishi@city.kashihara.nara.jp
D-06	奈良県立万葉文化館 館内ガイドツアー	奈良県立万葉文化館		ボランティアによる解説で館内をめぐり、『万葉集』の世界を体感。「富本銭」が出土した飛鳥池工房遺跡の見学も。	高市郡明日香村飛鳥10	近鉄橿原神宮前駅(東口)または飛鳥駅→バス「万葉文化館西口」下車すぐ	内容により異なる (小学生以上)	15分～30分	無料	火曜日～日曜日10:00～16:00 ※年末年始・展示替日を除く ※事前予約制(2週間前まで)	0744-54-1850
D-07	古代衣装体験	一般社団法人 飛鳥観光協会		古代衣装を身に着けて、記念撮影や飛鳥の遺跡めぐりを楽しむタイムトリップ体験。(衣装貸出は事前に要予約)	高市郡明日香村越6-3 総合案内所「飛鳥びとの館」	近鉄飛鳥駅下車すぐ	1名～20名程度	60分～120分	3,000円から ※多人数は別途更衣室借料要	9:00～17:00 ※事前予約制	0744-54-3240 info@asukakyo.jp
D-08	文化財修復ガイドツアーと体験学習 (2022年3月以降実施)	なら歴史芸術文化村 (2022年3月開村予定)		学芸員等による「文化財修復ガイドツアー」「仏像レプリカやVR等を用いた体験型展示」で文化財の魅力に触れる。	天理市杣之内町地内	JR・近鉄天理駅→バス 「勾田」下車徒歩約15分	要相談(小学生以上)	要相談	無料	要相談	0742-27-8073 (奈良県なら歴史芸術文化村整備推進室)

遺物修復体験
写真:橿原市教育委員会

主な体験プログラム一覧② ものづくり・食の体験、環境学習など

※社会情勢等の影響により、内容が変更になる場合や受入をお断りする場合があります。【早朝】9:00までに体験可 【夜間】夕食後に体験可

分類	記号	体験プログラム	施設名・管理団体	出張	内容	所在地	アクセス	受入人数(対象)	所要時間	費用(お一人様・税込)	受付時期・時間	ご予約・お問合せ
E.陶芸・七宝 鬼瓦づくりなど	E-01	赤膚焼 染付体験	がんこ一徹長屋 赤膚焼 大塩恵旦(けいたん)		第三代大塩昭山の次男・恵旦の指導で、出来上がりのお湯呑(ゆのみ)に絵を描く染付を体験。	奈良市西ノ京町215-1 (がんこ一徹長屋内)	近鉄西ノ京駅下車徒歩約3分	10名	60分	2,200円 ※送料別途要	10:30～15:30	0742-41-0657
	E-02	赤膚焼 手びねり体験	赤膚焼窯元 大塩玉泉(ぎょくせん)		手ろくろを使って、お茶碗やお皿、マグカップなどを製作。指導もしてくれるので初心者でも安心。	奈良市中町4945	近鉄学園前駅下車(南口)→バス東坂下車徒歩約2分	10名まで ※小学生(中学年)以上	約60分	中学生以上:3,500円 小学生:2,000円 ※送料別途要	10:00～15:00 (月曜日休)	0742-45-1806 0040gyokusen@gmail.com
	E-03	赤膚焼 一日体験教室	赤膚焼窯元 大塩昭山(しょうざん)	◎	①手びねり体験:粘土から造形してお湯呑を仕上げる。 ②絵付(染付)体験:素地に2色の絵具で絵や文字を書く。	奈良市中町4953	近鉄学園前駅下車(南口)→バス東坂下車すぐ	10名～50名	約120分	2,200円から(現地清算) ※送料別途要／出張費要相談	要お問合せ 【夜間】	0742-45-0408
	E-04	赤膚焼 絵付け体験	赤膚山元窯 古瀬堯三(ぎょうぞう) 中(なか)の窯(かま) 治兵衛(じへえ)		お皿や、ここの窯で造られた作品にオリジナルの絵や文字を1色で下絵付けする体験。	奈良市赤膚町1049	近鉄学園前駅下車(南口)→バス赤膚山下車徒歩約2分	1名～30名 ※30名以上相談可	約60分	小皿:880円／湯呑:1,320円 ※送料別途要	9:30～16:00 (月・第4水曜日休)	0742-45-4517 akahada@kcn.ne.jp
	E-05	ミニ鬼瓦づくり体験	株式会社 瓦道(がどう)	◎	東大寺・法隆寺・薬師寺の鬼瓦から型を選び、裏面に竹べらで願い事などを。自由な発想で創作する体験。	奈良市奈良坂町1144	JR・近鉄奈良駅→バス「奈保山御陵」下車徒歩約2分	1名～150名	約60分	2,500円 ※送料別途要／出張費別途要	9:00～17:00 (年末年始休) 【早朝】【夜間】	0742-22-2391(FAX.0742-22-2393) info@gado.co.jp
	E-06	赤膚焼体験	赤膚焼窯元 小川二楽(にらく)	◎	赤膚焼の説明と、粘土での成形、またはお湯呑の絵付を体験。希望すれば、体験風景の画像を送ってくれる。	大和郡山市朝日町4-18	近鉄郡山駅下車徒歩約5分	5名程度～30名	60分～90分	2,750円 ※送料別途要	要相談 (1～2カ月前まで) 【夜間】	0743-52-3274 niraku@m5.kcn.ne.jp
	E-07	七宝焼体験	匠(たくみ)の聚(むら)		銅板に独特の釉薬(ゆうやく)をのせて焼成し、世界で一つのオリジナルアクセサリーを制作。	吉野郡川上村東川135	近鉄大和上市駅→バス「西河口」下車徒歩約25分	30名まで	90分	1,600円	10:00～15:00 ※事前予約制	0746-53-2381(井上・百々どど) takumi@takuminomura.gr.jp

赤膚焼体験 写真:赤膚焼 大塩恵旦

分類	記号	体験プログラム	施設名・管理団体	出張	内容	所在地	アクセス	受入人数(対象)	所要時間	費用(お一人様・税込)	受付時期・時間	ご予約・お問合せ
F.伝統産業 クラフト体験など	F-01	にぎり墨体験	錦光園(きんこうえん)	◎	生の墨の「香り」「柔らかさ」「温かさ」を体感しながら、自分の手の型や指紋が付いたオリジナル「にぎり墨」を制作。	奈良市三条町547	JR奈良駅下車徒歩約5分	1名～300名 ※30名以上は貸会議室等にて	40分～90分 ※人数による	1,650円	8:30～19:00 【早朝】【夜間】	0742-22-3319(長野) info@kinkoen.jp
	F-02	①「鹿苑」見学 ②鹿角ストラップづくり体験	一般財団法人 奈良の鹿愛護会		①鹿の保護施設「鹿苑」で、鹿の歴史・生態について学ぶ。 ②鹿の角を使ったストラップづくりを体験。	奈良市春日野町160-1	JR・近鉄奈良駅→バス「春日大社表参道」下車。東へ徒歩約7分	要お問合せ	①、②各30分 ①+②60分	①500円(ガイド付) ②500円 ①+②800円	要お問合せ ※事前予約制	0742-22-2388 info@naradeer.com
	F-03	奈良筆づくり体験	奈良筆 田中	◎	A:筆の穂先に糊を浸み込ませて形成する仕上げ体験。 B:筆軸(竹)をナイフで削る刳(く)り込みと仕上げ体験。	奈良市公納堂町6	近鉄奈良駅下車徒歩約20分	1名～15名 ※15名以上応相談	Aコース:30分 Bコース:60分	Aコース:1,600円 Bコース:2,200円 ※出張費要相談	※事前予約制 【早朝】【夜間】	090-8483-4018(田中) tanakafude@narafude.jp
	F-04	御朱印帳づくり体験	吉田寺(きちでんじ) 奈良斑鳩ツーリズムWaikaru		好みの和紙を選んでオリジナル御朱印帳づくり。お念仏と法話の拝聴。 ※お盆・年末年始除く(お彼岸は要相談)	生駒郡斑鳩町小吉田1-1-23	JR・近鉄王寺駅(北口)→バス「竜田神社」下車徒歩約5分	4名～30名	約90分	3,800円(拝観料・志納料含む)	9:00～18:00 ※事前予約制 【夜間】	0745-75-8055(高野) waikaru.ikaruga@gmail.com
	F-05	古代ガラス製作体験	国営飛鳥歴史公園 飛鳥管理センター		復原された古代ガラスの作り方と同じ工程で、古代ガラスを製作。古代飛鳥の文化を感じる体験。	高市郡明日香村平田538 (飛鳥管理センター)	近鉄飛鳥駅下車徒歩約10分	5名～20名 ※応相談	120分	1,000円	9:30～17:00	0744-54-2441
	F-06	海獣葡萄鏡づくり	国営飛鳥歴史公園 飛鳥管理センター		錫(すず)合金を溶かして鋳造(ちゅうぞう)し、磨いて仕上げる。「海獣葡萄鏡」鋳造体験は、飛鳥歴史公園オリジナル。	高市郡明日香村平田538 (飛鳥管理センター)	近鉄飛鳥駅下車徒歩約10分	5名～10名 ※応相談	60分	鏡大(8.0cm):1,500円 鏡小(5.5cm):600円	9:30～17:00	0744-54-2441
	F-07	紙漉き体験	植和紙工房	◎	吉野・国栖の里に伝わる伝統的な和紙づくりの体験。ハガキ6枚漉きとタペストリー・タイプの紙漉きの2種をご用意。	吉野郡吉野町南大野237-1	近鉄大和上市駅→バス「吉野渡場」下車徒歩約5分	1名～20名程度	人数による	◎ハガキ:1,320円 ◎タペストリー:1,650円 ※送料別途要／出張費別途要	2月～12月 9:00～16:00 【早朝】【夜間】	0746-36-6134(植) ue.washi@gmail.com
	F-08	手漉き和紙体験	福西和紙本舗	◎	ハガキ8枚または証書サイズの和紙づくりを体験。自分で漉いた和紙に色付けしたオリジナル和紙をお土産に。	吉野郡吉野町窪垣内218-1	近鉄大和上市駅→バス「窪垣内」下車徒歩約10分	10名～100名まで	5分程度	2,000円 ※出張費別途要	随時受付 【早朝】【夜間】	0746-36-6513(福西) fukutora@kcn.jp
	F-09	箸作り体験	辰田製作所	◎	吉野の桧(ひのき)で作られた面取り前の箸を磨き、名前やイラストなどを焼付けるオリジナル箸作りを体験。	吉野郡吉野町南大野648	近鉄大和上市駅→バス「吉野渡場」下車徒歩約5分	10名～30名まで	約60分	500円 ※出張費別途要	9:00～16:00 【早朝(要相談)】【夜間】	0746-36-6205(FAX.0746-36-6284)

古代ガラス製作体験
写真:国営飛鳥歴史公園 飛鳥管理センター

手漉き和紙体験 写真:福西和紙本舗

分類	記号	体験プログラム	施設名・管理団体	出張	内容	所在地	アクセス	受入人数(対象)	所要時間	費用(お一人様・税込)	受付時期・時間	ご予約・お問合せ
G.食の体験など	G-01	和のテーブルマナー「いのち」をいただく作法講座	奈良パークホテル	◎	会席料理のマナーと僧侶による「いのち」をいただく作法を学ぶ体験講座。宿泊・夕食セットのプランとしてお薦め。	奈良市宝来4-18-1	JR・近鉄奈良駅→バス「阪奈宝来」下車すぐ	160名	120分	◎日帰り:5,500円 ◎宿 泊:7,700円	随時受付 【夜間(夕食兼)】	0742-44-5255(髙谷 たかや) takaya@narapark.jp
	G-02	エンターテイメント寿司体験教室	うめもり寿司学校 株式会社梅守本店	◎	初心者でも本格的なお寿司の握り方を学べる体験教室。寿司職人になった気分で、楽しい&美味しい体験を。	奈良市法華寺町221	近鉄新大宮駅下車徒歩約10分	200名	60分	2,860円(10名以上)	9:00～17:00 (12/25～1/3休) 【早朝】【夜間】	0742-34-5789(梅守) info@umemori.co.jp
	G-03	①こんにゃく作り教室 ②ジャム作り教室 ③蕎麦打ち教室	農業公園 信貴山のどか村		①生芋から成形まで。②のどか村産食材で無添加ジャム作り。③粉から練り、切るまでの工程を体験。	生駒郡三郷町信貴南畑1-7-1	JR王寺駅または近鉄信貴山下駅→バス「信貴山門」下車→送迎バス約5分	①②ともに50名 ③20名	約40分～60分	1,000円～3,000円	随時受付(応相談)	0745-73-8203 nodokamura@hkg.odn.ne.jp
	G-04	豆腐作り体験	とうふ匠 豆風花 奈良斑鳩ツーリズムWaikaru		豆腐の製造工程を学び、ニガリで固める工程を体験。水筒持参で豆乳や、作った「おぼろ豆腐」を持ち帰ることも。	生駒郡斑鳩町龍田西1-1479-1	JR・近鉄王寺駅(北口)→バス「竜田大橋」下車徒歩約7分	2名～4名	約40分～120分	2,900円	9:00～18:00(水曜日休) ※事前予約制 ※実施時間の変更不可	0745-75-8055(高野) waikaru.ikaruga@gmail.com
	G-05	奈良の郷土料理「柿の葉ずし」手作り体験	柿の葉ずし 総本家 平宗	◎	奈良の名産「柿の葉ずし」作りを老舗の工場・店舗で体験。河瀨直美監督作品『つつむ優しい文化』の鑑賞も。	天理市中町216	近鉄二階堂駅下車徒歩約10分	15名～50名	60分程度	1,815円	9:00～17:00 事前に要確認(電話) 【早朝】【夜間】	0743-64-2238 hirasou@kakinoha.co.jp
	G-06	お米パン作り体験	曽爾(そに)高原ファームガーデン お米の館		生地からこねて成形までを体験。焼き上がったお米パンは、しっとりモチモチ。2～3個お土産に持ち帰ることも。	宇陀郡曽爾村太良路839	近鉄名張駅→バス「太良路」下車徒歩約20分	5名～25名 ※25名以上要相談	約60分～90分	大人:1,500円 小学生まで:700円	水曜日・年末年始休 ※G.W.、お盆、9/1～11/30体験不可	0745-96-2888(河原) info@soni-kogen.com
	G-07	大和こんにゃく作り体験	太鼓判花夢花夢(たいこばんかむかむ)		蒟蒻芋(こんにゃくいも)から作る、昔ながらの大和こんにゃく作り。できたてを試食、お土産に持ち帰ることも。	吉野郡吉野町吉野山1278	近鉄吉野駅→ロープウェイ吉野山駅下車徒歩約20分(吉野駅まで送迎あり)	5名～10名まで	約60分	2,000円 ※エプロン持参	10:00～12:00 13:00～15:00	0746-32-3071(東 ひがし) kamkam@taikoban-yoshino.com

お米パン作り体験
写真:曽爾高原ファームガーデン

分類	記号	体験プログラム	施設名・管理団体	出張	内容	所在地	アクセス	受入人数(対象)	所要時間	費用(お一人様・税込)	受付時期・時間	ご予約・お問合せ
H.自然科学・環境学習 自然観察など	H-01	奈良公園の巨樹めぐり	グリーンあすなら (奈良 巨樹・巨木の会)	◎	奈良公園で数百年を今に生きている巨樹・巨木をゆっくり観察し、生命の不思議を考える体験。	奈良市疋田町391-3	奈良公園で実施 (近鉄奈良駅下車徒歩約5分)	5名～100名 ※小学生以上	60分～120分程度	100円～300円	9:00～16:00 ※実施時間調整あり 【早朝】	090-1446-7699(甲斐野 かいの) kouichikaino22@nike.eonet.ne.jp
	H-02	春日山原始林ガイドウォーク	春日山原始林を未来へつなぐ会		ガイドと春日山遊歩道を歩き、原始林の特徴や歴史、現在の課題について考え、人と自然の共生について学ぶ。	奈良市あやめ池北3-12-27 (奈良ストップ温暖化の会内)	春日山遊歩道で実施(JR・近鉄奈良駅→バス「春日大社本殿」下車徒歩約5分)	1グループ6名～10名まで (ガイド1名)※最大5グループまで	120分程度	500円	随時受付 ※実施時期・時間調整可 【早朝】	0742-49-6730(杉山) info@kasugatsunagu.com
	H-03	奈良公園の鹿と糞虫からのメッセージを読み解く	ならまち糞虫(ふんちゅう)館	◎	鹿・人・糞虫の関係と役割について学び、世界遺産・奈良の魅力が糞虫に支えられていることに気づく体験。	奈良市南城戸町28-13	近鉄奈良駅下車。南へ徒歩約10分	①環境学習:20名まで ②自然観察:10名まで	60分～120分	①1回:500円から ②1時間:1,000円から	①1月～12月実施 【早朝】【夜間】 ②4月～11月実施(出張不可) 【早朝】	070-1798-6464(中村) info@hunchukan.jp
	H-04	金魚すくい体験(競技形式)	こちくや金魚すくい道場 十津川農園	◎	毎年8月に開催される「全国金魚すくい選手権大会」の縮小版形式を体験。1位・2位・3位には賞品と表彰状も。	大和郡山市紺屋町23-1	近鉄郡山駅下車徒歩約5分	10名から ※組に分かれての体験は制限なし	40分～60分	1競技体験:550円 金魚すくい体験:150円 ※出張体験は別途価格設定	9:00～18:00 【早朝(出張不可)】【夜間】	0743-55-7770(FAX.0743-52-5553) totukawa2@proof.ocn.ne.jp
	H-05	林業体験	明日香村森林組合		林内作業(間伐・枝落とし・下草刈)の見学を通じて山や木について学ぶ。筆箱・竹トンボなどの木工体験も。	高市郡明日香村島庄5-2	明日香村村内作業現場、明日香村森林組合木工所他で実施	10名～40名 ※小学生以上	180分～240分	要相談	9:00～16:00	0744-54-2038
	H-06	森林環境教育プログラム ハイキング・野外炊事	独立行政法人 国立青少年教育振興機構 国立曽爾青少年自然の家		曽爾(そに)高原でハイキングや野外炊事を体験。SDGsや環境保護の意識を高める森林環境教育プログラムの体験も。	宇陀郡曽爾村太良路1170	名阪国道「針I.C.」から約60分。または名阪国道「上野I.C.」から約70分	2名～400名程度	120分～240分	無料 ※プログラムにより有料もあり	8:45～17:30 (年末年始休) 【早朝】	0745-96-2121 soni@niye.go.jp
	H-07	水とダムと防災の学習	大滝ダム・学べる防災ステーション		伊勢湾台風による災害とダム建設の歴史を知る「学べる防災ステーション」。豪雨体験、防災の学習コーナーも。	吉野郡川上村大滝962-1	京奈和自動車道五條北I.C.から車で約60分。または近鉄大和八木駅から車で約60分	100名程度まで ※小学生以上	要相談	無料	9:30～15:30(水曜日・12/21～2月末他休) ※事前予約制	0746-53-2372 0747-25-3013(紀の川ダム統合管理事務所)
	H-08	自然環境学習	森と水の源流館		①館内見学 ②水源地の森ツアー ③川上村エコツアーで、川上村の自然・環境・風土・歴史・民族・文化を学ぶ。	吉野郡川上村迫1374-1	近鉄大和上市駅→バス「湯盛温泉 杉の湯」下車徒歩約5分	各種体験により異なる	要相談	要相談	9:00～16:30(水曜日・年末年始休) ※各種体験により異なる	0746-52-0888 morimizu@genryuu.or.jp

奈良公園の鹿と糞虫からのメッセージを読み解く 写真:ならまち糞虫館

自然環境学習(水源地の森ツアー)
写真:森と水の源流館

古代日本の宮都の変遷をたどるモデルコース（2泊3日）

日本の国のはじまりから、国家としての「日本」の成立まで。飛鳥・藤原京から平城京エリアを訪ね、古代日本の都の移り変わりをたどってみよう。また、世界に誇る法隆寺の木造建築と仏教美術の見学も。時間に余裕があれば、桜の名所・吉野山まで足を延ばしてみよう。

【1日目】飛鳥・藤原京エリア

日本の国のはじまりの地。古代飛鳥の歴史・文化に触れる。
（地図）48頁／主な学習スポット（06頁参照）

JR新大阪駅
←（貸切バスで約1時間30分）
近鉄飛鳥駅
←（レンタサイクル利用）
◎キトラ古墳壁画体験館 四神の館（12頁参照）
←◎石舞台古墳（07・08頁参照）
←◎飛鳥宮跡（10頁参照）
←◎奈良県立万葉文化館（10頁参照）
←◎甘樫丘展望台（09頁参照）
←◎飛鳥寺（07・08頁参照）
←◎藤原宮跡（11・12頁参照）
←近鉄橿原神宮前駅
←橿原市内（泊）

〈体験プログラム（宿泊先にて）〉
劇団「時空」演劇鑑賞『大化の改新』
●主な体験プログラム一覧（41・42頁・C06参照）
雅楽演奏の実施・鑑賞
●主な体験プログラム一覧（41・42頁・B05参照）

石舞台古墳　写真：UPフォトス

雅楽鑑賞　写真：株式会社 雅房

劇団「時空」演劇鑑賞　写真：あすか劇団「時空」

【2日目】平城京エリア（西ノ京・平城宮跡）

美しい建築と心癒されるみ仏。奈良時代の都「平城京」を体感。
（地図）47頁／主な学習スポット（22頁参照）

近鉄橿原神宮前駅
←（近鉄線）
近鉄西ノ京駅
←◎唐招提寺（31・32頁参照）
←◎薬師寺（31・32頁参照）

〈体験プログラム〉
赤膚焼 大塩恵旦（がんこ一徹長屋）『赤膚焼 染付体験』
●主な体験プログラム一覧（43・44頁・E01参照）
薬師寺『法話体験』
●主な体験プログラム一覧（41・42頁・A01参照）

←◎平城宮跡歴史公園（29・30頁参照）
←近鉄大和西大寺駅
←（近鉄線）
近鉄奈良駅
←◎興福寺／奈良国立博物館「なら仏像館」春日大社／元興寺・ならまち（25・26頁／20頁／27・28頁参照）
←奈良市内（泊）

〈体験プログラム（夜間）〉
『なら燈花会体験』
●主な体験プログラム一覧（41・42頁・C02参照）

平城宮跡・第一次大極殿　写真：UPフォトス

赤膚焼体験
写真：赤膚焼 大塩恵旦

法話体験　写真：薬師寺

なら燈花会体験
写真：NPO法人 なら燈花会の会

【3日目】平城京エリア（奈良公園周辺）法隆寺エリア

「鹿寄せ」、東大寺の早朝参拝、聖徳太子創建の法隆寺を満喫。
（地図）47・49頁／主な学習スポット（14・22頁参照）

〈体験プログラム〉
『鹿寄せ』
●主な体験プログラム一覧（41・42頁・C01参照）

←◎東大寺（早朝拝観）（23・24頁参照）
←（貸切バス）
◎法隆寺（15〜18頁参照）
←（貸切バス）
◎中宮寺（17・18頁参照）
←（貸切バス）
JR新大阪駅または京都駅

【オプションコース】
（夜遅い新幹線で帰郷される団体様向け）

法隆寺から足を延ばして桜の名所・吉野山へ。

修験道の聖地、南朝ゆかりの地。隠れ里・吉野の魅力を知る。
（地図）49頁／主な学習スポット（36頁参照）

法隆寺
←（貸切バス）
◎金峯山寺／吉水神社／如意輪寺
花矢倉展望台など
←（貸切バス）
JR新大阪駅または京都駅

法隆寺・西院伽藍 金堂〈国宝〉　写真：飛鳥園

鹿寄せ
写真：一般財団法人 奈良の鹿愛護会

花矢倉展望台　写真：UPフォトス

奈良県全体マップ

奈良市中心部
古都奈良の文化財
法隆寺地域の仏教建造物
飛鳥・橿原
吉野山
紀伊山地の霊場と参詣道〜吉野・大峯〜
もう、すべらせない!!〜龍田古道の心臓部「亀の瀬」を越えてゆけ〜
1400年に渡る悠久の歴史を伝える「最古の国道」〜竹内街道・横大路（大道）〜
「葛城修験」-里人とともに守り伝える修験道はじまりの地
1300年つづく日本の終活の旅〜西国三十三所観音巡礼〜
日本国創成のとき〜飛鳥を翔た女性たち〜
女性とともに今に息づく女人高野〜時を超え、時に合わせて見守り続ける癒しの聖地〜
森に育まれ、森を育んだ人々の暮らしとこころ〜美林連なる造林発祥の地"吉野"〜
なら歴史芸術文化村（2022年開村予定）
唐古・鍵遺跡史跡公園
石上神宮
大神神社
長谷寺
室生寺
談山神社
箸墓古墳
信貴山 朝護孫子寺
法隆寺
奈良県

JR線
近鉄線
自動車道
主要道路
道の駅
世界遺産
日本遺産
日本遺産所在市町村

写真：飛鳥園

法隆寺伽藍見学マップ

吉野山

奈良県内の移動時間目安（貸切バスでの移動時間）

奈良県修学旅行ガイドブック

発行日＝2021年3月31日

発行＝奈良県

〒630-8501　奈良市登大路町30

電話＝0742-27-8553

監修者＝西山　厚

半蔵門ミュージアム館長。奈良・帝塚山大学客員教授、奈良国立博物館名誉館員。京都大学大学院文学研究科博士課程修了。奈良国立博物館では、教育室長・学芸部長を務める。

（参考文献）

本ガイドブック制作にあたっては、以下の著作を参考にさせていただきました。（著作者または著作名50音順）

◎石ノ森章太郎著『マンガ日本の歴史⑤⑥』（義江彰夫解説「時代概説⑤脱皮する大和王権・時代概説⑥律令国家の建設」）中央公論社／◎井上光貞監修『図説 歴史散歩事典』山川出版社／◎岡田英弘著『歴史とはなにか』文藝春秋／◎小川光三著『奈良 世界遺産散歩』新潮社／◎小川光三著『ヤマト古代祭祀の謎』学生社／◎『お寺の基本』枻出版社／◎小和田哲男監修『大人が知らない！最新日本史の教科書』宝島社／◎久野健著『仏像の歴史』山川出版社／◎芸術新潮1990年1月号『国宝』新潮社／◎『詳説 日本史図録（第8版）』山川出版社／◎『新編 新しい社会 歴史』東京書籍（平成27年3月31日検定済）◎闘信子・山崎隆之編・監修『仏像』山と渓谷社／◎銭谷武平著『役行者ものがたり』人文書院／◎竹田恒泰監修『日本書紀を知りたい』枻出版社／◎中西進著『万葉集』『万葉集事典』講談社／◎西村公朝著『仏像の声』新潮社／◎西山厚著『仏像に会う 53の仏像の写真と物語』ウェッジ／◎牧野貞之写真『古の大和』学習研究社